

- 一 牛乳搾取販賣ノ件
- 一 橋梁及道路渡船等ノ賃錢ニ係ル件
- 一 私立學校幼稚園等ニ係ル件
- 一 諸貸下金ニ係ル件
- 一 法律規則等ノ疑義ニ付戸長ヨリ伺出ノ件

○郡區役所へ照會

ニ乙第二六一号
明治十九年四月二日

本年乙第三十八號ヲ以被達候指令經由條件之内左ノ三項警察ノ主管ニ属スル分ハ従前ノ通賞役所ヲ經由セス所轄警察署ヲ經テ致下付候條豫メ此段及通牒置候也

- 一 西洋形商船ニ係ル件
- 一 天然温泉開止業ノ件
- 一 諸營業ノ組合設立并中合規則ヲ定ムル件
- 追テ墓地及火葬場ニ關スル件本年甲第四十二號布達ノ條目ニ無之候得共右ハ取締規則ノ明文ニ據リ無論賞役所ヲ經由スヘキ義ト御承知有之度爲念申添候也

第十二款 文書調理手續

○本甲第二百二十七號

明治十八年十二月廿八日

警察署

文書調理手續別紙之通相定メ來明治十九年一月一日ヨリ施行シ十六年本甲第二百二十四號及同年第二百四十二號通達其他此手續ニ抵觸スル従前ノ通達及指令ハ同日限リ廢止ス此段及通達候也

文書調理手續

- 第一條 凡ソ警察上ニ關スル一般ノ文書ハ此手續ニ因リ調理スヘシ
- 第二條 行政諸規則取扱手續及司法事務取扱内則等別ニ調理ノ方法ヲ定ムルモノハ各其手續ニ從フヘシ
- 第三條 文書受付簿ハ甲乙二冊ト爲シ左ノ種類ニ從ヒ文書ノ要領ヲ登記ス其事務簡潔ナル署ニ在テハ便宜一冊ニ製シ之ニ見出ヲ付スルモ妨ケナシ
 - 一 甲號受付簿ハ第一號雛形ニ倣ヒ諸官署_{管内外及分署モ包含ス}ヨリ照會回答通知報告又ハ稟議シ來ル文書ノ要領及番號月日ヲ記載シ之ニ回答又ハ指示シタル片ハ其事由及月日ヲ記入スヘキモノトス
 - 二 乙號受付簿ハ第二號雛形ニ倣ヒ一般人民ヨリ差出ス諸願届_{摘要錄ニ依ルヘキ諸願并面會説諭差入物類及止宿寄留届等ノ類ヲ除ク}書面ノ要領及番號月日ヲ記載シ之ニ指令ヲ爲シタル片ハ其事由及月日ヲ記入スヘキモノトス
- 第四條 諸願摘要錄ハ一冊乃至三冊ヲ製シ第號三雛形ニ倣ヒ人民諸願中副本ヲ要セス指令スヘキ文書ノ要領ヲ記入シ種類ヲ分チ簿冊ニ見出ヲ付スヘシ

但當分ノ内街水路彫刻業遊戯場旅人宿雇人受宿各取締規則ニ關スル諸願
及諸行願演劇ヲ除ク烟火打揚願ニ限リ適用スルモノトス

第五條 凡ソ文書ヲ受付タルキハ左ノ手續ニ從フヘシ

一 第三條ニ掲クル文書ハ係書記ニ於テ第四號雛形ニ倣ヒ受付番號及月日ヲ
其書面ニ付記シ捺印シテ受付簿ト共ニ主務者ニ交付シ該簿及書面ニ其捺印
ヲ受クヘシ

其親展電報及親展封書ニ係ルモノハ其儘署長若クハ主務者ニ差出スヘシ

二 第二條ニ掲クル文書ハ係書記ニ於テ番號月日住所氏名及願書ノ要領ヲ摘
要録ニ記入捺印シ該簿ト共ニ主務者ニ交付スヘシ

第六條 主務者文書ノ配付ヲ受ケタルキハ左ノ手續ニ從フヘシ

一 第三條ノ文書ヲ受ケタルキハ速ニ署長ノ檢閱ニ供シ而ル後テ調理審按シ
場所臨檢又ハ人民喚徴等ヲ要スルモノハ各其手續ヲ爲シ該事件ニ對スル上
申稟議照會回答又ハ指令等ノ文案ヲ記草シ署長ノ決議ヲ經テ係書記ニ交付
シ淨寫奉行ノ手續ヲ爲サシムヘシ

二 第四條ノ文書ヲ受ケタルキハ直チニ調理ニ着手シ場所臨檢又ハ人民喚徴
等ヲ要スルモノハ各其手續ヲ爲シ該事件ニ對スル指令按テ摘要録ニ記草シ
且其欄ニ捺印シ署長ノ決印ヲ得テ之ヲ係書記ニ交付ス書記之ヲ淨寫シ奉行

ノ月日ヲ摘要録其欄ニ記入捺印シ尙ホ他日照願スヘキ要點アルモノハ備考
欄内ニ其要領ヲ記シ置クヘシ

但臨檢員復命シタルキモ亦摘要録其欄ニ捺印シ其復命書又ハ圖面其他願書
ニ付屬ノ書類アルキハ各其書面ニ摘要録ト同一ノ番號ヲ付スヘシ

第七條 願書ニ指令ヲ記スルニ當リ紙面ニ餘白ナキモノハ別ニ野紙ニ書シテ
本紙ニ綴付シ第五號雛形ノ契印ヲ捺スヘシ

第八條 通常場所臨檢ハ復命書ヲ作ルニ及ハスト雖モ其異狀アルモノ及他官
署ノ照會ニ係ルモノハ之ヲ作ルヘシ

第九條 人民ヲ喚徴スルキハ主務者ニ於テ第六號雛形ニ倣ヒ其住所氏名喚徴
ノ事由及日時ヲ喚徴簿ニ登記シ署長ノ認印ヲ受ケ便宜ノ方法ヲ以テ喚徴ノ
手續ヲ爲スヘシ

第十條 凡ソ文書ヲ發遣スルキハ係書記ニ於テ第七號雛形ニ倣ヒ文書發遣簿
ニ其要領及記號月日ヲ記載シ其指令又ハ回答アリタルキハ備考欄内ニ該事
由及月日ヲ記入シ其時々捺印スヘシ

第十一條 發遣文書ニ付スヘキ記號ハ左ノ十種トシ濫リニ増加スルヲ許サス
一 何(其署)第號 此記號ハ行政及司法ニ關スル諸上申伺届稟議
狀報告等ノ文書ニ付スルモノトス
二 何(同上)行第號 此記號ハ行政ニ關スル管内外各官署及課掛等
ニ往復文書ニ付スルモノトス

三何(同上)司 第 號 此記号ハ司法ニ關スル管内外各官署及課掛等
 四何(同上)犯甲第 號 此記号ハ犯罪一件書類(公訴スヘキモノ)檢事
 五何(同上)犯乙第 號 此記号ハ署限リ解放スルモノトス
 六何(同上)犯丙第 號 此記号ハ賭博及賣淫ニ關スル犯罪一件本署ニ
 七何(同上)犯丁第 號 此記号ハ賭博及賣淫犯ノ署限解放シタル文書
 八何(同上)用 第 號 此記号ハ用度事務ニ關スル發遣文書ニ付スル
 九何(同上)親 第 號 此記号ハ親展ニ關スル發遣文書ニ付スルモノ
 十何署 第 號 此記号ハ署長達ニ付スルモノトス

第十二條 凡ソ文案ヲ起草スルニハ 巡查警部補代理 又ハ雇ニ於テ主任タルヲ
 得ス

但副員トシテ起草スル場合ハ別ニ主任ヲ置クモノトス

第十三條 凡ソ署長ノ檢認若クハ決議ヲ要スルモノハ必ス内勤長ヲ經由シ其
 外勤事務ニ係ルモノハ外勤長ヲ經由スヘシ

但署長不在ノキ取扱ヒタル事件ハ出署ノ際各主務者ヨリ檢閱ニ供スヘシ

第十四條 署員ノ都合ニ依リ一人ニシテ數係ノ事ヲ兼テ行フ場合ト雖モ仍ホ
 各本條ノ手續ニ依リ其資格ヲ分チ取扱フヘシ

第十五條 一切ノ文書調理完結シタルモノハ其時々第二十條ノ種目ニ從ヒ假

リニ編冊スヘシ

第十六條 文書編冊ノ方法ハ各其種目ニ因リ明別スヘシト雖モ若シ一件ニシ
 テ數種ニ涉リ分離スヘカラサルモノハ警ヘハ人民類ヨリ起リ管内外ニ往復シ又ハ其
 起ル所ノ部類人民諸類編冊ニ併綴スヘシ

第十七條 布告諸達其他必要ノ書類ハ便宜ノ方法ヲ以テ署員周知ノ手續ヲ爲
 シ其一週日ヲ過ルモノハ之ニ索引ヲ付シ第二十條ノ種目ニ從ヒ仮リニ編冊
 スヘシ

但數種合冊スヘキモノト雖モ假綴中ニ限リ各種ニ分綴スルヲ得

第十八條 布告諸達中改正追加等アリタルモ其時々係書記ニ於テ補正捺印
 スヘシ

第十九條 各種ノ簿冊ハ毎年一月前年分ヲ改綴シ整理保存スヘシ其第二十條
 ノ種目外ニ涉ルヲ許サス

但實際不得止モノアルモ稟議ノ上種目ヲ増加スルヲ得

第二十條 簿冊ノ種目ハ左ノ如シ

但日誌附配録通知簿番號錄諸規則類纂見張受付簿及雜書綴ノ類ハ便宜調
 製スルヲ得又各種ノ簿冊中其署ニ關係ナキ者ハ必シモ調製スルニ及ハス
 諸達ノ部

- 一 布告布達編冊
- 一 內務省^達告示編冊
- 一 大藏省^達告示編冊
- 一 外務省^達文部省^達農商^達務省^達宮內省^達逕信省^達告示編冊
- 一 官報編冊
- 一 大坂府^乙號編冊
- 一 大坂府^丙號編冊
- 一 大坂府^{無號}正誤編冊
- 一 本署^甲號達編冊
- 一 本署^乙號達編冊
- 一 本署^{無號}正誤編冊
- 一 署長達編冊
- 一 大阪府警察指令錄編冊
- 行政之部
- 一 文書受付簿
- 一 諸願摘要錄
- 一 人民喚徵簿
- 一 風俗照願錄
- 一 救奏任官宿泊錄
- 一 內閣^達告示編冊
- 一 陸軍省^達告示編冊
- 一 司法省^達告示編冊
- 一 諸省報告編冊
- 一 大坂府甲號達編冊
- 一 大坂府示號編冊
- 一 本署警號達編冊
- 一 本署^丙號達編冊
- 一 郡區役所^達告示編冊
- 一 聯合府縣同指令錄編冊
- 一 文書發遣簿
- 一 郵便差立簿
- 一 會議々事錄
- 一 電話通信錄
- 一 署員宿所簿
- 一 警邏船名簿
- 一 漂流物領置簿
- 一 古物商名簿
- 一 質屋名簿
- 一 質商名簿
- 一 監視人名簿
- 一 賭博犯名簿
- 一 賭博犯^{割付}簿
- 一 上申具狀報告稟議伺屆編冊
- 一 官民賞與上申書編冊
- 一 管外往復編冊
- 一 分署長稟議編冊
- 一 親展書編冊
- 一 署員諸願屆編冊
- 一 檢視一件書類編冊
- 一 演劇與行願屆編冊
- 一 寄席與行願屆編冊
- 一 人民諸願編冊

- 一 消防器械調查簿
- 一 川中使用^{許可}返上^{明細}簿
- 一 品觸報告根簿
- 一 古物商^{看板檢印}行商^{鑑札}番號錄
- 一 質屋番號錄
- 一 飲料水販賣人名簿
- 一 監視人送致簿
- 一 賣淫犯名簿
- 一 賣淫過料金受領簿
- 一 經裁書編冊
- 一 管內往復編冊
- 一 分署往復編冊
- 一 會議々事錄編冊
- 一 官員進退報告編冊
- 一 署員^{待罪}手續^書編冊
- 一 演說會一件書類編冊
- 一 觀物與行^{并遊覽所}願屆編冊
- 一 警邏船名簿
- 一 漂流物領置簿
- 一 古物商名簿
- 一 質屋名簿
- 一 質商名簿
- 一 監視人名簿
- 一 賭博犯名簿
- 一 賭博犯^{割付}簿
- 一 上申具狀報告稟議伺屆編冊
- 一 官民賞與上申書編冊
- 一 管外往復編冊
- 一 分署長稟議編冊
- 一 親展書編冊
- 一 署員諸願屆編冊
- 一 檢視一件書類編冊
- 一 演劇與行願屆編冊
- 一 寄席與行願屆編冊
- 一 人民諸願編冊

- 一 人民諸屆編冊
- 一 止宿人屆編冊
- 一 死畜解剖願編冊
- 一 行政諸報告編冊
- 一 消防關係書類編冊
- 一 船舶出港屆編冊
- 一 澗川氣船發着屆編冊
- 一 漂流物處分濟書類編冊
- 一 古物商 看板檢印 行商鑑札願書類編冊
- 一 古物商願屆編冊
- 一 古物商減業屆編冊
- 一 古物商 物品運輸屆編冊
- 一 古物商 物品返還 追徵言渡 扣編冊
- 一 古物商帳簿檢印編冊
- 一 質屋開業願編冊
- 一 質屋 轉居 戶主換願編冊
- 一 質屋品觸編冊
- 一 人民諸願付屬書類編冊
- 一 屠畜願屆編冊
- 一 行政諸請書類編冊
- 一 分署諸報告編冊
- 一 船具關係書類編冊
- 一 船舶入港屆編冊
- 一 漂流物關係書類編冊
- 一 飲料水販賣人願屆編冊
- 一 古物商諸 看板檢印 行商鑑札引替更三下付願編冊
- 一 古物商廢業屆編冊
- 一 古物商增業願編冊
- 一 古物商 現在品屆檢査復命書 物品買入認許可書編冊
- 一 古物商品觸編冊
- 一 古物商博物場露店看板檢印願編冊
- 一 質屋廢業屆編冊
- 一 質屋檢印願編冊
- 一 質屋流質物賣却屆編冊

- 一 屠商開業願編冊
- 一 屠商 家屬行 商雇人鑑札下付願編冊
- 一 監視人願屆編冊
- 一 賭博犯一件書類編冊
- 一 賣淫犯一件書類編冊
- 一 賣淫處分通知書類編冊
- 一 警察日報編冊
- 一 專務巡查事故日報編冊
- 一 警察官限解故事件表編冊
- 一 諸表編冊
- 一 司法之部
- 一 違警罪件名簿
- 一 違警罪科料金受領簿
- 一 割附簿
- 一 犯罪名簿
- 一 犯罪搜查簿
- 一 逮捕狀謄寫簿
- 一 特務割付簿
- 一 屠商廢業屆編冊
- 一 屠商 轉居 戶主換願編冊
- 一 監視一件書類編冊
- 一 賭博犯解放書類編冊
- 一 淫賣犯解放書類編冊
- 一 紛夫屆編冊
- 一 警察報告表編冊
- 一 賊難事故及補拿罪犯報告表編冊
- 一 警察區畫表編冊
- 一 違警罪割付簿
- 一 被害事件受付簿
- 一 引致名簿
- 一 告訴發摘要錄
- 一 令狀名簿
- 一 喚徵簿
- 一 發翰番號錄

[印 署]		[印 署]		割印	第三號雜形
號 [何]	第	號 [何]	第		
考備	長 [○]	署	(何)月(何)日受(○)	(何)月(何)日檢(○)	係書記ノ印
	場所何々		(何)月(何)日奉(○)		
	(街燈建設)				臨檢員ノ印
	圖面并復命書別綴ニアリ				
	任主 [○]	長勤内 [○]	(日限何月何日マテ)	(聞 届)	係書記ノ印
	(難聞届)				
		(何郡何村何番地)			
		(何 某)			
		(何區何町何丁)			
		(目何番地平民)			
		(何 某)			

日 月	日 月	日 何 月 何
號 第	號 第	號 何 第
同上	同上	住所氏名 何々願(届)ノ件
		印
日 月	日 月	日 何 月 何
		何々ト指令セラレ
		印

主務官ノ印

係書記ノ印

係書記ノ印

第六號雛形

		(署長)	
		日何月何	
		出何午何每 頭時後前日	
		何 々 ノ 件	
		任主 長勤内 (印) (印)	
		何郡(區)町(村)番地 何某	
		記 (印) 書	

喚徵狀發付月日 出頭ノ月日時 喚徵ノ事由

第四號雛形

		(印)	
一寸二分		(印)	
		(印)	
二寸三分	甲(乙)第	明治 年 月 日 受付	
	號		
四分		(印)	

署長ノ印 内勤長ノ印 主任ノ印 係書記ノ印

長曲尺八分

朱印

第五號雛形

第七號雜形

官署名	番	號	年月日	宛	名	摘	要	主任	書記
何府	何第何號	何月何日	何	某	何々ノ件照會	何	某	④	
(縣)	備考	何月何日	何々ト回答アリ	④係書記ノ印					
何課	何第何號	何月何日	何	某	何々ノ件回答	何	某	④	
(署)	備考								
備考									
備考									

第十三款 簿書保存手續

○本甲第三十一號 明治十九年二月二十六日 警察署

簿書保存手續左之通相定候條此段相達候也

但十七年十一月二十四日內達ハ取消ス

簿書保存手續

- 第一條 警察署及ヒ分署ニ備フル簿書ハ此手續ニ從ヒ取扱フ可シ
- 第二條 永ク保存ヲ要スル簿書ハ常ニ蟲鼠雨濕ノ損傷ナキニ注意シ且ツ毎年一回之ヲ曝シ每冊目錄ニ對照點檢スヘシ
- 第三條 保存滿期ノ簿書ハ之ヲ細斷シ賣却ノ上其代金第四部ヘ納付スヘシ
- 第四條 保存期限ヲ計算スルハ簿冊整頓ノ翌月ヨリ之ヲ起算シ滿十二ヶ月ヲ以テ一年ト定ム
- 第五條 簿書ノ保存期限ハ左ノ各項ニ從フヘシ

- 第一項 保存永久
 - 布告布達編冊
 - 內閣達告示編冊
 - 陸軍省達告示編冊
 - 司法省達告示編冊
- 內務省達告示編冊
- 大藏省達告示編冊

第一編通規

簿書保存手續

外務省文部省農商務省編冊 官報編冊	諸省報告編冊
大阪府 ^乙 號編冊	大阪府甲號編冊
大阪府 ^丙 號編冊	大阪府示號編冊
大阪府 ^{告諭廣告} 編冊	本署警號達編冊
本署 ^甲 號達編冊	本署 ^丙 號達編冊
本署 ^乙 號達編冊	郡區役所 ^達 編冊
本署 ^{告諭廣告} 編冊	聯合府縣何指令錄編冊
署長達編冊	大阪府警察指令錄編冊
檢事指揮書類編冊	經裁書編冊(行政ノ分)
飲料水販賣人名簿	會議々事錄編冊
分署長稟議編冊	警察日報編冊
會議々事錄	諸表編冊(行政司法共)
警察報告表編冊	雇名簿
巡查身分一覽表	旅人宿名簿
湯屋業名簿	人力車輓夫鑑札番號元簿
雇人受宿名簿	人力車頭取名簿
人力車輓夫名簿	乘合馬車 ^{取者} 馬丁名簿
乘合馬車 ^{取者} 馬丁鑑札番號元簿	

乘合馬車頭取名簿	馬匹名簿
彫刻業名簿	火藥營業者根帳簿
火藥賣買月表屆編冊	風俗照顧錄
署員宿所簿	消防器械調查簿
現金受拂簿	日記簿
原簿	別途巡查費口別簿
警部諸費內譯簿	巡查積金口別簿
警察費內譯簿	雜收入口別簿
臨時寄托口別簿	操替金類別簿
假出金類別簿	全領受証書編冊
金錢收支傳票編冊	被害事件受付簿
^{貸座敷} 名簿	犯罪名簿
^{娼妓} 名簿	管內往復書類編冊(司法ノ分)
引致名簿	發翰番號錄(全上)
留置及換刑人名簿	來翰受付錄(全上)
管外往復書類編冊(全上)	警邏船名簿
來翰番號錄(全上)	
各裁判所往復書類編冊	

- 川中使用許可明細簿
- 返上明細簿
- 古物商名簿
- 質屋名簿
- 質商名簿
- 賣淫犯名簿
- 第二項 保存二十年
- 演說會一件書類編冊
- 檢視一件書類編冊
- 證憑物件領置簿
- 監視人送致簿
- 犯罪未決書類編冊
- 第三項 保存十年
- 賊難事故及捕拿犯罪報告表編冊
- 甲號遺失物分濟編冊
- 乙号全
- 拾得金品明細簿
- 漂流物處分濟書類編冊
- 品觸報告根簿
- 船具關係書類編冊
- 古物商看板檢印番號錄
- 行商鑑札番號錄
- 質屋番號錄
- 賭博犯名簿
- 警察區畫表編冊
- 犯罪一件書類編冊
- 檢證書類編冊
- 監視人名簿
- 告訴告發及盜難屆編冊
- 丙号全
- 漂流物關係書類編冊
- 犯則未決逃亡名簿
- 遞付錄(司法ノ分)

- 古物商現在品屆検査復命書物品買入認メ許可編冊ノ内(現在品屆)留置及換刑人所持金品簿
- 古物商品觸編冊
- 賭博犯一件事書類編冊
- 署限處分書類編冊(司法ノ分)
- 第四項 保存五年
- 巡查事故撮要錄
- 文書發遣簿(全上)
- 管外往復編冊(行政ノ分)
- 監視一件書類編冊
- 第五項 保存四年
- 娼妓稼業願編冊
- 犯則一件書類編冊
- 全上轉席願編冊
- 犯則名簿
- 第六項 保存三年
- 警察官限解放事件表編冊
- 巡查勤惰簿
- 割付錄(司法ノ分)
- 特務割付簿
- 火藥賣渡編冊
- 行政諸報告編冊
- 分署諸報告編冊
- 親展書編冊
- 上申具狀報告稟議伺屆編冊
- 紛失屆編冊
- 公賣金官沒金仕譯書編冊
- 拾得物根帳

- 乘合馬車馱者鑑札書換願書編冊
- 乘合馬車馱者鑑札更ニ付與願書編冊
- 乘合馬車馱者廢業屆編冊
- 乘合馬車馱者關係雜書編冊
- 彫刻業諸屆編冊
- 電信通信錄
- 觀物興行願屆編冊
- 并遊覽所願屆編冊
- 止宿人屆編冊
- 死畜解剖願編冊
- 飲料水販賣人願屆編冊
- 揭示報告表
- 巡查會議事錄
- 留置人引繼簿
- 發着證編冊
- 分署詰巡查勤務一覽表編冊
- 水夫勤務一覽表編冊
- 娼妓稼業廢業屆編冊
- 娼妓貸座敷鑑札書換願編冊
- 他行願編冊
- 乘合馬車馱者馬丁檢査表編冊
- 彫刻業記号願書編冊
- 彫刻業雜書編冊
- 演劇興行願屆編冊
- 寄席願屆編冊
- 屠畜願編冊
- 消防關係書類編冊
- 專務巡查事故日報編冊
- 外勤中繼簿
- 巡查臨時勤務錄
- 巡查郡村巡回名簿
- 根署詰巡查勤務一覽表編冊
- 派出所巡查勤務一覽表編冊
- 貸座敷廢業屆編冊
- 娼妓貸座敷稼業願却下編冊
- 他行願編冊

- 他行願名簿
- 犯罪搜簿查簿乙簿
- 逮捕狀謄寫簿全上
- 換刑執行錄
- 被告人遞付錄
- 船舶出港屆編冊
- 澱川瀛船發着屆編冊
- 救奏任官宿泊錄
- 分署往復編冊(行政ノ分)
- 署員待罪書編冊
- 違警罪割付簿
- 郵便差立簿(行政ノ分)
- 第六條 前條ニ掲クル書名ニ適當セサル簿書ト雖モ其實同種類ナル者ハ全條各項ニ比較シテ處分ス可シ
- 第十四款 簿書閱覽規則
- 本達乙第廿六號 明治十九年九月廿四日 各課
- 簿書閱覽心得左ノ通定ム
- 諸願伺屆編冊
- 令狀名簿但此簿冊ニ限リ執行シタル日ヨリ記算ス
- 喚徵簿(司法ノ分)
- 留置及換刑人賄簿
- 雜書類編冊(司法ノ分)
- 船舶入港屆編冊
- 官員進退報告編冊
- 官民賞與上申書編冊
- 署員諸願屆編冊
- 違警罪公判書類編冊
- 違警罪科料金受領簿
- 人民喚徵簿(全上)

簿書閱覽心得

第一條 本部ニ備フル圖書編冊及諸記録ハ規程ニ從ヒ内事課ニ於テ保管ス之
 レヲ總稱シテ簿書ト云フ

第二條 簿書ヲ閱覽セントスル者ハ内事課主任者ニ就キ其旨ヲ告ケ所要ノ簿
 書ヲ受取り閱覽畢リタルキハ即時之レヲ返還スヘシ私擅ニ書庫ヲ搜索シ課
 外ニ持去ルヘカラス

第三條 閱覽ニ時間ヲ要シ又ハ謄寫等ノ爲メ自席ニ於テ使用セントスル者ハ
 内事課備ヘ置キノ閱覽券ニ書名課名及年月日ヲ記入捺印シ内事課主任者ニ
 交付シテ所要ノ簿書ヲ受取り閱覽畢リタルキハ即時ニ之レヲ返還シ閱覽券
 ヲ受取ルヘシ

第四條 簿書ノ閱覽ハ翌日ニ涉ルコトヲ得ス若シ急要ノ事故アリテ居残り又ハ
 自宅ニテ使用セントスルキハ其事由ヲ主任者ニ告ケ承諾ヲ受クヘシ但自宅
 ニ持歸リタルキハ出勤ノ際必ス持參スヘシ

用紙仙花

閱覽券	明治何年何月何日	閱覽者ノ印
類聚法規(又ハ)	第何卷	
何冊	何冊	
何課	何課	

第十五款 郵便物附人民呼出及用使

●天第二百七十七號 明治十二年八月三十日
 警察分署ニ宛タル郵便物表記ニ何地警察署何地分署ト二様ノ地名ヲ登記有之
 然ルニ郵便遞送ハ迅速ヲ主トシ取扱候付逐一表記ヲ通讀スルニ暇ナク肩書地
 名ノ初筆ヲ目的トシ候ヨリ自然警察署ヘ誤送相成候付自今管内外ヲ問ハス該
 分署名ノ肩ヘ其地名ヲ直書候様可致此旨管内無洩相達候事

●甲第五十九號 明治十四年三月卅一日

諸鑑札ノ内木製ノ製ハ郵便規則中地方郵便ニ據リ開キ封帶封ヲ以テ郵送シ得
 ヘキモノニ無之候條此旨布達候事

○本乙第六十二號 明治十八年七月廿日 各部

郵便物發遣規則左ノ通相定候條此段及通達候也
 但十六年五月同八月無礙通達ハ取消ス

郵便物發遣規則

第一條 郵便物發遣ハ機密及至急事件ヲ除クノ外一切親展至急等ノ文字ヲ記
 載セズ開キ封ヲ以テ附掛又ハ宿直員ニ送附スヘシ

第二條 同一ノ官署ニ二通以上發スベキ書類ノ内官名又ハ官氏名宛ノ封書又
 ハ親展書又ハ官署宛ニシテ書留アルキハ其儘官署名宛合封ニ作リ書留トナ

シ發遣スベシ

但官名又ハ官氏名宛ノ封書及親展書モ官署名宛合封ニ作リ發遣スベシ

第三條 長官及警部長名ヲ以發遣スル封書別封ヲ要スルモノハ封皮裏面ニ(別封)ノ二字ヲ記載スルモノトス

第四條 第四種郵便物ニシテ至急ヲ要セサルモノハ通運會社ヲシテ發送スベシ(庶第三三七九号第一部長通牒ニ依リ實行セズ郵便又ハ臨時雇ヲ御用使トシテ差立ルモノトス)

第五條 第一種又ハ至急ヲ要スル第四種郵便物等重量ニシテ郵税多額ニ涉リ臨時雇ノ送附却テ節減ナルキハ臨時雇ヲシテ發送スベシ

第六條 郵便發遣書類ハ件數届先等遞附録ニ記載シ退廳時間迄ハ受附掛へ退廳時間後ハ宿直員ニ送附スベシ

第七條 受附掛ハ至急又ハ別配達ノ郵便書類ハ即時ニ其他ハ退廳時間ニ發遣スベシ

但宿直員ハ其時々發遣スベシ

○事丙第四九九號 明治十九年八月廿六日

内事課ヨリ 本部各課へ照會

郵便物發遣方ニ付テハ從來一定ノ期限モ無之爲メニ退廳後宿直へ御差出相成候モノ不少往々差支ノ場合モ有之候ニ付自今迄クモ退廳時刻府名知事名ノ發遣ハ一時前ニ受付係へ御交付相成度其後ハ格別要急ノモノヲ除クノ外總テ翌日休暇ナラハ其翌日

ニ差回候テ豫テ夫々御示達置相成度此段及御照會候也

●庶第二三七九號

明治十九年十月四日

第一部長ヨリ 本部長へ通牒

郵便ニ依ル不能事故ナキ書狀印刷物ノ類持使雇人等ヲ以テ送達スルヲ得ヘカラサル義ハ郵便條例第六十七條ノ通ニ付右ニ背戻スル取扱ハ無之筈ニ候得共今般遞信監察官ヲ被置時々管内ヲ巡回セシメ萬一右等ノ所爲有之實地現行犯ト認ムル場合ニ於テハ其犯人ヲ逮捕スル義モ可有之旨其筋ヨリ通牒有之候條御如才ハ有之間敷候得共御取扱上深ク御注意相成度此段及御通牒置候也

但本文ノ趣各警察署長へモ御示シ置相成各此段申添候也

○事丙第六三八號

明治十九年十月六日

内事課ヨリ 各署へ通知

郵便物取扱ノ儀ニ付今并第一部長ヨリ左ノ通牒有之候就テハ本部ニ於テ何分ノ發遣方被定候迄ハ從前通運ヲ以テ差立タル印刷物ノ類ハ總テ郵便ヲ以差立候條貴署ニ於テモ發遣方御注意有之度此段及御通知候也

追テ分署へ御通報置相成度此段申添候也

○事丙第六六二號

明治十九年十月十四日

内事課ヨリ 各署へ通知

事丙第六三八號ヲ以郵便物發遣ノ儀及御通知候處爾後郵便稅節減ノ爲メ官報登載ノ諸達ハ一切配付ヲ相廢シ其他印刷物及信書類ハ時機ニ因リ郵便條例第六十七條ニ觸レサル處ノ臨時小使ヲ雇入レ御用使トシテ發遣可致儀モ有之別

ニ發遣手續ハ不被定候條此段及御通知候也

○本乙第九十七號 明治十六年九月廿日

區部水上曾根崎
天王寺警察署

郵便ヲ以テ差立ル郡村人民呼出狀ハ受取人へ到達ト出頭シ得ヘキ日子ヲ計リ
發付スヘキ筈ノ處往々呼出狀期日切迫ニシテ出頭スルヲ得サル場合モ有之候
ニ付配達局ニ於テ其情ヲ酌量シ右種ノ郵便物ハ到着スルヤ直ニ特使ヲ發シテ
配達セシムル等別配達同様ノ取扱ヲ爲ス向モ有之哉ニ相聞ヘ右ハ別配達ノ手
數ヲ爲サ、ルモノニ付特使ヲ發シ配達スルハ相成ラサル成規云々其筋ヨリ照
會ノ次第モ有之候條以後通常別配達ノ手續ヲ爲サ、ルヲ云郵便ヲ以テ期日必ス出頭ヲ要スル
呼出狀ハ別紙日割表ヘ據リ發遣可致此段及通達候也

日割概表

- 島上島下豐嶋能勢郡ハ 凡五日目
- 西成住吉東成郡ハ 凡三日目
- 河内國石川錦部郡ヲ除ク 凡三日目
- 全 國石川錦部郡ハ 凡四日目
- 和泉國大鳥泉郡ハ 凡三日目
- 全 國南日根郡ハ 凡四日目
- 大和國宇智山邊添上郡ハ 凡五日目

- 全 國宇陀郡ハ 凡六日目
- 全 國吉野郡北山郷 凡八日目
- 全 郡ノ内右兩郷ヲ除ク外 凡六日目
- 全國右諸郡ヲ除クノ外 凡四日目
- 警察署茨木天王寺曾根崎塚ヲ除ク 郡役所東成住吉西成島下島上八尾塚郡區役所ヲ除ク 所在地ハ 凡三日目
- 茨木曾根崎天王寺塚四警察署島上嶋下西成住吉東成八尾塚五郡區役所所在 地ハ 凡二日目

(備考)

本文日割ハ午後五時迄當署發遣ノ積ヲ以テ計算スルモノニ付全時後發遣ノモ
ノハ翌日ヨリ起算スルモノトス

○本乙第五十八號 明治十八年七月七日 各部

人民呼出狀發遣手續

人民呼出狀發遣手續

第一條 每部ニ喚徵簿甲乙二冊ヲ備置キ喚徵ヲ要スルモノアルハ其事件ノ
大要并ニ呼出日限及住所氏名等第五條書式ニ載ヒ該簿ニ登記シ部長ノ認印
ヲ得テ之ヲ受付掛ニ交付スヘシ

但呼出日限ハ呼出狀到達ト出頭ヲ爲シ得ヘキ日子ヲ計リ記載スルヲ要ス
第二條 喚徵簿ヲ受付掛ニ交付スルハ退署時限ヨリ一時間前迄トス其至急ヲ
要スル事件ハ此限ニアラス

第三條 受付掛ハ喚徵簿ニ記載シタル事項ヲ喚徵用葉書ニ記入シ直チニ之ヲ
發遣シ該簿ハ濟ノ印ヲ捺シ其主部ニ返付ス可シ

第四條 受付掛ハ別ニ喚徵書發遣録ヲ備置キ喚徵用葉書ノ支出ヲ明記スヘシ
第五條 喚徵簿書式

何月何日○受付掛發遣濟ノ印

部長ノ認印

何國何郡區町村番地

○何々事件ニ付何月何日何時出頭○主任ノ印 何ノ誰

●丁第十四號 明治十九年一月十六日 各課署

一般事務上ニ關シ戶長又ハ人民ヲ喚徵スルハ昇廳時限ヲ期スルノ慣行ニ候處
右時限ニ出頭スルモ徒ラニ爲待置候向往々有之不都合ノ次第ニ付自今ハ午前
午後ニ不拘各自ニ時限ヲ定メ出頭ノ上ハ速ニ處理候樣可致此旨相達候事

○本達甲第二號 明治十九年八月六日 課署

行政事務ニ關シ直チニ人民ヲ喚徵スルハ自今左ノ書式ニ從フヘシ
郵便端書ヲ用フルノ例

裏

何々ノ件

來ル何日午前何時出頭アルヘシ

明治何年何月何日

大坂府警察本部
又ハ何警察署

出頭ノ節此書面持參ノ事

表

府下何區郡何町何番地

(又ハ某方)

何之誰殿

(或ハ執事)

片紙ヲ用フルノ例

何々ノ件

來ル何日午後前何時出頭アルヘシ

明治何年何月何日

大坂府警察本部

(又ハ何警察署)

府下何區郡何村町番地(又ハ某方)

何之誰殿

(或ハ執事)

出頭ノ節此書面持參ノ事

○本乙第七十二號 明治十六年七月廿四日

區部水上會根
崎天王寺署

御用使差立ノ義ニ付去ル明治十一年月甲第廿五號ヲ以テ及通達置候義モ有之候處右ハ詮議ノ次第有之相止メ候條自今本署へ送付スヘキ書類物品ハ其署小使ヲ以テ毎日午前第十時迄ニ本署ニ到着候様取計フ可シ此段及通達候也但本文書類物品ハ都テ遞送附録ニ記載シ受取人ノ受領印ヲ取り置ク可ク義

ト心得ヘシ

第五章 各署備付書籍

○本甲第百十五號 明治十六年六月廿七日

各署

各署備付書籍之義ハ從來一定ノ區分ナキヨリ往々直接緊要ナラサル書籍モ概シテ警察費ヲ以テ購求候様之慣行モ有之所今般別紙ノ通り類別之現行法律規則書ノ類須要ノモノヲ以テ第一類トシ需用ヨリ支出シ其注釋指令等ノ如キモノヲ第二類トシ經費ノ都合ニ依リ需用支出シ第三類ハ各自ノ自辨トナシ來ル七月一日ヨリ施行候旨伺定候ニ付右書目ニ照準ナシ從來ノ手續ニ依リ稟議可致此段及内達候也

第一類

- 一 類聚法規
- 一 官令全報
- 一 現行警察法規ノ類
- 一 刑法治罪法
- 一 郵便罰則
- 一 現行罰則全書
- 一 衛生規則

以上書目ノ概畧ヲ掲ケタルヲ以テ其他此ノ類例ニ依リ區別スル積リ以下同之

第二類

- 一 刑法治罪法註釋及問答類
- 一 刑法治罪法指令錄
- 一 大審院判決錄
- 一 司法省指令錄
- 一 違警罪類纂
- 一 治罪規程一覽
- 一 強姦檢察論
- 一 獄務備考
- 一 警察一班及手眼ノ類

第三類

- 一 各國法律書及釋議類
- 一 文章軌範
- 一 百科全書
- 一 日本外史國史客ノ類

一 西國立志編及西洋事情ノ類

第六章 報告及製表

第一款 各省報告ニ關スル事

● 應達第四十三號

明治十九年九月卅日

各部長

今般內務省令第十七號ヲ以內務報告例設定候ニ付テハ來ル十月一日ヨリ實施スヘシ

● 應達第四十四號

明治十九年十月一日

各部

今般內務省令第七號ヲ以テ報告例ヲ定メラレ候ニ附テハ他ノ各省へ進達スルモノモ該例ニ準シ取扱フヘク依テ其手續左ノ通心得ヘシ

一 豫報即報ヲ除ク他ノ報告ハ其期限五日前必ス決裁ヲ經テ發遣スヘシ若其手續キチ爲シ能ハサルキハ其事由ヲ具申スヘシ

一 諸報告ノ料紙從來料紙ノ制ヲ定メタルモノヲ除クハ今般省令様式ノモノヲ用フヘシ

一 諸報告ハ總テ第一部庶務課ニ於テ取纏ムヘクニ付決裁ノ後製表ヲ同課へ送附スヘシ

一 第一部庶務課ニ於テハ省令第八條ノ如ク同期限ノ報告ヲ一括トナシ進達ノ手續ヲ爲スヘシ

一 第一項ノ期日則五日前ニ至リ送附ナキキハ庶務課ハ其主務ニ向テ督促スヘシ

十九年本連第四
十三号ヲ以但書
及書式追加

○本達乙第三十三號 明治十九年十月二日 各
水上警察署
應達第四十四號ヲ以報告例取扱方被定候ニ附テハ豫報即報ヲ除ク他ノ報告ハ
期限六日前ニ決裁ヲ經テ内事課ヘ送附スル義ト心得ヘシ
但進達文案ハ左ノ書式ニ依ルモノトス

記

一何々表

何葉

一何々

右進達候也

年 月 日

長 官

何大臣何某殿

第二款 警察報告例

○本達乙第五十七號 明治十九年十一月廿七日 警察署
警察報告例左ノ通定ム
但本例ニ矛盾スル從前ノ達ハ廢止ス

警察報告例

第一條 本例ハ警察署ニ於テ管轄内警察事務ヲ執行セシ事故ニ就キ緩急輕重

ニ從ヒ報告スヘキ順序ヲ示スモノナリ

第二條 報告ヲ分テ豫報即報旬報月報季報半年報年報ノ七種トス但特別ノ達

ニ因ルモノ及事倉卒ニ起リ須臾モ闕ク可ラサルモノハ固ヨリ此例外トス

第三條 豫報ハ將來日月ヲ期シテ舉行スヘキ者又ハ事變ノ兆候ヲ偵知シタル
時之ヲ未然ニ報スル者旬報ハ每十日月報ハ每季報ハ每三箇月半年報ハ每
半年年報ハ一箇年ニ係ル事項ヲ報告シ會計年度ニ關スル者ハ其年度ニ依リ
報告ス可シ

但電話ヲ以テ報告シタルモノト雖モ本例ニ據ルヘキモノハ尙其手續ヲ爲
スヘシ

第四條 例目中從前ノ報告種類ヲ變更シ或ハ新設スル者アリ各其定ムル所ニ
依ル可シ

第五條 報告發送期限ハ從前定期アル者ト否トヲ問ハス例目ノ下欄ニ於テ指
定シタル時日ニ發送シ決シテ其期ヲ過クルコトヲ得ス

第六條 例目中諸表類ノ報告ハ別ニ送致書或ハ日録書等ヲ付セス其代用トシ
テ一事項毎ニ表面欄外ヘ左ノ雛形ノ印ヲ押捺シ番號年月日及主管課名ヲ記
入スヘシ

第七條 例目中ノ事項今後ノ諸達ニ因リ改正セシ時ハ延テ本例ニ及フヘシ

種痘規則違犯者處分	十八年五月本甲第五十號	同	五日	同
火藥類賣買表	十八年五月本甲第五十二號	同	十五日	同
劇發火藥賣渡明細表	十八年五月本甲第五十六號第三條	同	五日	同
墓地及火葬場新設改造換機等落成検査ヲ終ヘタル	十八年五月本甲第五十五號(四區會天塚)	同	十日	同
教育場へ被救人引渡セシ人員	十九年五月本甲第六十二號	同	十五日	同
民有ノ免許銃調査表	同	同	十五日	同
免許商所有ノ免許銃調査表	同	同	十五日	同
政談ニ非ラサル演說開會	十九年五月時乙第二十二號	同	三日	同
警察報告月報(第十四埋火葬者人員表除ク)	十九年六月本甲第八十二號	同	五日	同
警察署長權内下達條件	十九年七月本府廳達第二號第四條	同	五日	同
西洋形漁船並帆船及日本形船出入表	(水上署へ)	同	七日	同
町藝妓月末現員 <small>(警察報告月表第十二余白欄内ニ記載ス)</small>	(堺、岸、牧、奈、郡署へ)	同	五日	同
巡查會議錄	十五年四月本甲第百七號第十一條	甲部其月廿日 乙部其月卅日	第一	課
巡查訓受筆記書	十九年四月本甲第百七號第十一條	翌月三日	同	同
巡查配置表	十二年號第五條	翌月三日	同	同
違警罪即決件數表	十八年十一月本甲第百五號	同	五日	同
處務月報	十八年十二月本乙第九十六號(本部出張所)	同	同	第二課

古物商質屋取締條例犯報告	十九年四月本甲第四十六號	同	同	同
允請巡查費精算書	十八年六月本府丁第四十四號第廿九條第六項	翌月五日	第三	課
警察費精算書	同第四十四條	同	同	同
探偵費精算書	十八年六月内第廿一號第十一條	翌月十日	同	同
巡查教育費精算書	同	同	同	同
巡查合宿料精算書	同	同	同	同
季報	同	同	同	同
長屋建築明細表	十九年八月本達乙第十六號第六項	四月七月十日 十月一月十日	内	事課
半年報	同	同	同	同
戶口調査表	十五年七月本府丁第八十四號第十六條	七月十五日	第一	課
年報	同	同	同	同
本府統計書	十七年十月本甲第百九號	二月二十日	内	事課
銃獵免許明細表	十九年八月本達乙第十五號第八項	七月十日	同	同
威銃免許明細表	同	同	同	同
巡查流行病患者年表	同	七月十日	同	同
違警罪即決統計表	十八年十二月司法省第八十一號	一月二十日	第一	課
需用品受渡明細表	十八年六月本府丁第四十四號第五十四條	四月三十日	第三	課
財產統計表	十八年六月本府丁第四十四號第五十九條	一月三十一日	同	同

古物商 質屋 諸興行 飲食店 旅人宿 雇人受宿
工事企圖
道路開鑿其他大工事

民間苦情

學校 諸會社 戶長人民間 地主小作人間 神佛祭典開帳
山林田野 道路水利

第四款 各署聯合通報內則

○本甲第二百四十一號 明治十六年十二月廿六日 警察署
各署管轄ヲ異ニスレハ自カラ氣脉ノ隔絶ナシトセズ依テ各署聯合通報規則左
ノ通相定メ候條彼我相警メ取締方一層注意可致此段及通達候也

各署聯合通報規則

第一條 各署通報ノ聯合ヲ定ムル別表ノ如シ

但區部各署及ヒ根分署ハ電話又ハ別ニ報告ノ例規アルヲ以テ之ヲ除ク

第二條 通報ノ事項左ノ如シ

一 強盜盜遭難及逮捕(竊盜ハ著大ナル者并ニ時ニ關係アル者ノ外ハ之ヲ除ク)

二 謀故殺及毆打致(被告人ノ捕ニ就タル者ハ之ヲ除ク)

三 詐偽遭難及逮捕(被告人捕ニ就キタル者并ニ特ニ注意ヲ要スル者ノ外ハ之ヲ除ク)

十七年本甲第十
七號ヲ以テ第三
項ノ劃註ヲ追加
ス

四 留置及拘留人逃走

五 流行病蔓延ノ兆

六 拾得金品一圓以上又ハ必要ト認ムルモノ

七 前項ノ外異常ト認ムル件

第三條 通報ノ事故アルハ其要領ヲ單簡ニ摘記シ速ニ聯合各署ヘ郵送スヘシ

第四條 報告ヲ受ケタル分署ハ日報ニ記シテ根署ニ報シ根署ハ必要ト認ムル
場合ニ限り所轄分署ニ通告スヘシ

第五條 報告ヲ受ケタル事故ハ便宜揭示スヘシ

(該則制定ノ後警察本分署數回ノ廢置
多クノ變換アルヲ以テ別表ハ省ク)

第五款

風水震雷戮殺火災外
國人等ノ異常報告

●丁第六十四號

明治十五年五月廿二日

警察本署

左ノ條項アルニ際シ所轄警察署分署ヨリ瞬速報告スルハ勿論ニ候處郡署ニシ
テ本署ヲ經由スレハ遲回ノ不便アル向ニ限り可成電信ヲ以テ直チニ內務省警
保局長ヘ報告シ同時ニ其署ヘ通知可爲致此旨相達候事

一 風水震雷ノ變災ニ罹リ人畜ノ死傷家屋田園ノ破壞橫流山岳ノ壞崩異常之

事

- 一 原因ノ如何ニ拘ハラス一個ノ場所ニ於テ三人以上戮殺セラレタル事
- 一 百戸以上火災ニ罹リタル事
- 一 重罪ニシテ十人以上共犯中ノ者ヲ捕獲セシ事
- 一 外國人内國人ニ對シ又内國人外國人ニ對シ暴行ヲ加ヘ及其他異狀ノ所行アリシ事
- 一 囚犯反獄逃走シタル事

●丁第六十二號 明治十九年五月八日 警察本署

明治十五年五月 丁第六十四號達中警察署分署ヨリ警保局長へ直報ノ義自今廢ス此旨相達候事

○本甲第四十七號 明治十七年四月八日 警察署

今般其筋ヨリ達ノ次第モ有之候ニ付自今左ノ場合ニ於テハ其事狀ヲ詳記シ急報ス可シ此段及通達候也

- 一 禁錮以上ニ該ル可キ拘留又ハ捕獲ノ囚徒三人以上俱ニ逃亡シタル時
- 一 集治檻へ押送ノ囚徒又ハ其他ノ囚徒ニシテ暴行ヲ爲シ逃亡シタル時
- 一 已決ノ囚徒外役先ニ於テ逃亡其他ノ理由ニ依リ暴行ヲ爲シ之ヲ防止スル爲メ已テ得ヌ殺傷シタル時

第六款 暴風雨前兆警報揭示

○本甲第百五十號 明治十七年十二月廿三日 警察署電話機ナキ

暴風雨等ノ前兆有之節ハ爾今本署ヨリ通知候條其都度左ノ書式ニ準シ警察署及ヒ分署並ニ巡查派出所へ揭示ス可シ此段及通達候也

書式

氣象警報

一本日又ハ何日頃暴風雨通知ノ事柄ヲ記ス、前兆アル旨報告アリ

右揭示候事

年 月 日

第七款 官報材料通報心得

○本乙第五號 明治十九年一月十二日 各部

別紙丁第一號ヲ以テ官報材料通報方之義被達候ニ就テハ各部長ニ於テ篤ク注意ヲ爲シ主管ノ事故有之時ハ瞬速第二部へ通報可致此段相達候也

●丁第一號 明治十九年一月四日 各課署

官報材料通報方之義ハ兼テ追々相達置候處尙又今般總理大臣ヨリ被達候旨モ有之候條各課署長ニ於テ厚ク注意シ別紙通報心得ニヨリ迅速通報可致此旨更ニ相達候事

官報材料通報心得

- 一 官報々告材料ハ凡ソ別紙ノ事項ニ準據シ庶務課官報掛ヘ通報スヘシ
- 一 總テ官報材料ノ通報ハ其事ノ確實ナルヲ要スルカ故ニ成ルヘク書而テ以テスヘシト雖モ又極メテ迅速ヲ要スルヲ以テ其輕易簡短ナル事柄ニ至ツテハ口頭ヲ以テスルモ妨ナシ
- 一 但口頭ヲ以テスル場合ニ於テハ官報掛員之ヲ原稿紙ヘ記載ノ上其確實ヲ證スル爲メ該通報主務者ノ認印ヲ徵ス
- 一 通報材料ニハ其事柄ニ關係アル人名場所時日等其事目トナルヘキ廉々ヲ詳記スヘシ
- 一 通報事件之種類ニヨリ始終連續セサレハ其用ヲ爲サ、ルモノアリ例ヘハ前ニ早魃ノ景況ヲ報シテ後ニ潤雨ヲ得タルノ景況ヲ報告セス又巡察使等之來着ノミヲ報シテ其出發ヲ報セサル如キノ類是ナリ其他是レニ類スルコト多シ故ニ始アリ終リアル様通報スヘキ事
- 一 新聞紙又ハ雜誌ニ於テ本府之公務上若シ利害ニ關スル重大之件ニ付誤謬ノ說ヲ掲載セシキハ詳細事實ヲ記シ通報スヘシ
- 一 知事書記官警部長收稅長ニ隨行出張シタル者ハ出發ハ前日歸廳ハ着后一時間内ニ通報スヘシ

- 一 總テ通報材料トナルヘキモノハ其事件之報知書ヲ得又ハ知了シ終結シタル時ヨリ一時間内必ス通報スヘシ
- 一 月報ニ係ルモノハ翌月七日限り半年報ニ係ルモノハ翌月 日限り年報ハ翌月十五日限り通報スヘシ
- 一 總テ通報ヲ要スル事件出發時限前後又ハ休暇日ニ生シタルキハ前項之手續ニヨリ官報掛員其宅ヘ通報スヘシ
- 一 左ニ記載スル事項ハ其大概ヲ示スモノナリ他ハ類推シテ臨機通報スヘシ

通報事項

- 一 知事書記官警部長收稅長出張之發着時日(上東京ノ着發ハ東京ニ於テ直ニ内閣ヘ届出ルヲ以テ通報ヲ要セス)
- 一 但廉立タル工事之落成見分開校式生徒卒業証書授與式等ノ類之如キハ其景況人員等ヲ詳記ス
- 一 勅任官巡回視察等ニ付到着出發之時日及其視察之狀況
- 一 緊要ナル論告論達之類
- 一 廳舎之新築移轉等
- 一 較著ナル行爲ニヨリ又ハ奇特者ヘ褒賞ヲ與ヘタル者ノ住所姓名及其行爲事項之概畧(賞金一圓以上ノモノ)
- 一 同上ニ付褒狀又ハ賞金(一圓未滿)ヲ與ヘタル其人員一年間之統計

但 褒狀何人ト區別ス
賞金何人ト區別ス

- 一 社寺ニ關スル重要ノ件
- 一 外國人雇入解約
- 一 府會之開閉并ニ其決議之要略及認可不認可之項目
- 一 府會議員之改選 議員之總數并正副議長
常置委員之姓名
- 一 徵兵使徵兵督官檢閱使等之來着并出發及其徵兵又ハ檢閱ニ係ル狀況
- 一 軍艦之出入
- 一 師範學校中學校之盛衰設廢生徒增減其原由并教則校則之制定改正等
- 一 教育會之興廢會員之增減並報告
- 一 一般公私立學校其他各種學校之教育上之景況及生徒之增減其原由等
- 一 諸作物之景況
- 一 旱害水害蟲害其他作物之被害景況
- 一 農業之改良又ハ開墾等ノ景況
- 一 特有物産之產出高及收納金高並增減其原由等
- 一 種子交換並肥料等ノ得失
- 一 有益ナル農會又ハ農事相談會等ノ景況
- 一 老農之實驗說其他農事ニ關スル古來慣習之參考トナルヘキモノ

- 一 山林又ハ水産ニ關スル一切之事項
- 一 急劇ナル物價之變動並其原由
- 一 特有物産之市價並其賣捌キ地方等 (每月取贖
メ報告)
- 一 每半年間公債証書之賣買出入高
- 一 西洋形並日本形船舶 日本形ハ五十石
積以上 出入 (每月總
メ報告)
- 一 商法會議等之議決之要旨
- 一 商業上慣習之參考トナルヘキモノ
- 一 工作製造場等ノ景況並盛衰其原由
- 一 發明工夫ニ係ル事項
- 一 美術之景況
- 一 開墾其他諸般之新工事又ハ出來大工事之參考トナルヘキモノ
- 一 農工商諮問會及博覽會共進會等之開閉並ニ其開會中之景況
- 一 勸業委員之緊要ナル報告
- 一 傳染病及流行病患者中毒者ニ係ル報告並ニ停船檢疫等
- 一 地方病ニ係ル記事
- 一 飲食物溝渠家屋等ニ關スル衛生事項
- 一 牛馬及鳥畜類等之流行病

一 警察事項

警察ニ關シテ褒賞及恩給ヲ得タルモノ

物類事項

人事事項

賊難事項

捕拿罪犯

以上之諸項ハ半年毎ニ其概略ヲ通報スヘシ但警察上拔群之功勞アルモノ

例ハ強盜等ハ其都度直チニ詳細之事實ヲ報スルヲ要ス

一 監獄署之景況囚徒之増減種類脱獄等

一 天災并事變等

一 火災官舎學校病院銀行等之火災其他通帯民家ノ火災ハ凡百戸以上之火災ニ至ルモノ

第八款 本府統計書様式

○本甲第九号 明治十七年十月四日

部署所(二部ヲ除ク)

今般内務省乙第三十六号ヲ以テ府縣統計書一定ノ義達セラレ候ニ附テハ十五年以來當府統計書モ右様式ニ倣ヒ統計掛ニ於テ編纂相成候趣ニ付各主管ノ事故別紙様式ニ據リ取調毎年二月十五日限り本署第二部へ送致可致此段及通達

候也

●乙第三十六号

府縣統計書様式別冊之通相定候條自今刊行致候統計書ハ右様式ニ倣フヘシ此旨相達候事

但様式ハ本省統計課ヨリ送附スヘシ

府縣統計書様式

製表通則

一 此様式ハ官省ノ令達等ニ依テ調査セル材料ニ基キ統計書ヲ編製スルノ主意ヲ以テ調製セシモノナリ然レモ緊要ト認ムル事項ノ如キハ右令達等ニ依テ調査セサル者ト雖モ其式ヲ設ケタリ此事項ノ内調査ニ多クノ手數ヲ要スルモノハ暫ク之ヲ欠クモ可ナリ但官省ノ令達等ニ變更アリテ調査ノ事項ヲ變更セシキハ都度其様式ノ大体ヲ指示ス可シ

一 様式ヲ示セル事項ノ外他ニ緊要ノ事項ヲ調査セシ者アラハ諸式ヲ見合セ適宜ニ其表ヲ増加ス可シ或ハ様式ニ五ヶ年ノ比較ヲ示セルモノヲ六七十年若クハ八九年トシ又市街ヲ人口壹萬以上ト限レルモノヲ五千以上若クハ一年以上トナス等之ヲ取捨スルハ府縣ノ便ニ任ス
一看者ヲシテ先ツ總体ノ數ニ注目セシメント欲スルモノハ總數ノ字ヲ以テ合

計ノ字ニ代ヘ表ノ上野若クハ首項ニ置キ反之累年ノ比較ヲ要スル事實及各科目ヲ開示スルノ必要アルモノハ表ノ下野若クハ尾項ニ合計ヲ付ス可シ

一本書ヲ調製スル年間ノ事實ヨリハ一年若クハ二年前ノ事實ヲ掲載スルモノハ其表題ノ下ニ何年ノ事實タル旨ヲ明記スルヲ要ス

一累年ノ事實ヲ掲ク可キ式ヲ示セルモノハ五ヶ年ノ事實ヲ以テ對比スルモノトス然レモ前年以上ノ事實中溯リテ調査シ得カタク者ハ之ヲ將來ニ採ル可シ但年次ノ排列ハ最近ノ年ヲ以テ前項或ハ上野ニ置ク可シ

一會計年度調ニ係ル事實ハ曆年調ノ事實ヨリ半年前マテノ事實ヲ掲クルモノトス例ヘハ明治十六年中曆年ノ事實ヲ掲クルルハ明治十五年度會計年ノ事實ヲ載ルカ如シ

一郡ノ内二郡以上ヲ併テ一郡役所ヲ置ケルモノモ其事實ハ一郡毎ニ掲載ス可シ

一市街トハ人口壹萬以上群居セル地ヲ云

一年次トハ曆年、年度トハ會計年度ヲ云

一表中ニ郡區又ハ署トアル欄内ニ再掲、某市街、々々其他(市街ニアラザル場所ヲ云)ト記セルモノハ先ツ各郡區又ハ各署ノ事實ヲ掲ケ而シテ後再ヒ市街ノ事實ヲ掲ク可シ

一數位記入ノ例ハ様式中特ニ端數ノ稱ヲ示セル者ノ外ハ四捨五入ノ法ヲ用ヒ一位ニ止ム可シ

一數字ノ句點ハ一位「?」ハ(一位以下ノ小數ヲ記セサル者ハ此ヲ略要セス)千位及百萬位ニハ「、」ヲ右側下ニ施シ一位ノ右側ニ其數量ノ名稱ヲ記ス可シ

一表中調査未了ノ事實アラハ其欄ヘ「?」ヲ全ク登記スヘキ事實ナキ者ハ其欄ヘ「—」ヲ記入ス可シ

備考(本署追加)

一欄外何部各署トアルハ主管ヲ示セルモノナリ

一上欄署名トアルハ總テ某警察署ト記載スヘシ

一警察區畫中面積及ヒ一方里ノ人口ハ登記スルニ及ハス

一署名ハ該年末ノ現稱ヲ登記スヘシ

一某市街トアルハ大坂四區界、奈良、郡山、岸和田、市街及ヒ天王寺村(天下茶屋等ヲ除)難波村ヲ掲クヘシ

一取締ニ關スル諸營業ノ科目ハ警察報告調製細則第三十八條ニ依ルヘシ

一警察報告表ノ事實ト總テ差異ナキヲ要ス

(一課
各署)

(用紙美濃紙又ハ美濃野紙)

第一五 警察區畫

村數以上ハ十二月三十一日現在
戸數人口ハ一月一日現在
面積ハ何年調

署名	所轄郡區	町數	村數	戸數	人口	面積 方里分厘	一方里ノ 人口
某地警察署							
直轄							
某々分署							
某々分署							

警察署ノ内嶋嶼ヲ管スルモノハ其島名ヲ表尾ニ附記スヘシ

(各署)

第三三

棄兒

郡區	再掲 某市街 某市街 其他	全管合計	性		拾擧ケシ月															
			總數	男	女	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月			
〃〃〃〃																				
〃〃〃〃																				
〃〃〃〃																				
〃〃〃〃																				

本表ハ警察報告ノ内ヨリ事實ヲ採集スヘシ
但拾擧ケノ際既ニ死亡セル者ト否トニ拘ラズ掲載スルヲ要ス

(水上)

第一六七

難破船

遭難場所	船種	年次	總數	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
某洋	蒸氣	十何													
	風帆	同同同同同													
	日本	同同同同同													
	形五	同同同同同													
	百石	同同同同同													
	以上	同同同同同													

本表ハ船籍ノ自他ニ拘ラス管内各浦役場ニ於テ取扱タル事實ヲ掲載スヘシ表中船種ハ蒸氣風帆日本形五百石以上五百石未満解漁船及小廻船ノ五種ニ別テ記ス可シ

第二一三

出版圖書

類別	總數	著述編輯翻譯數	冊數	刻數
政事				
法律				
何々				
何年				
何年				
何年				
何年				
合計				

(内事課)

本表類別ノ叙列ハ概テ政事法律經濟修身宗教天文地理數學統計理化農工商ノ書兵書歴史傳記字書雜書等トス

(各署)

第二一六 盜難ニ罹リシ家屋船舶及人員

署名	強盜ニ遭ヒシ家		強盜ニ遭ヒシ家		追剝ニ遭ヒシ人		搦摸拐帶騷擾等ニ遭ヒシ人			
	強盜ニ遭ヒシ家	強盜ニ遭ヒシ家	強盜ニ遭ヒシ家	強盜ニ遭ヒシ家	總數	男	女	總數	男	女
再揭某市街										
其某市街										
其他										
全管合計										
何年										
何年										
何年										
何年										

(各署)

第二一七 盜難ニ罹リシ財産ノ價額

署名	再揭某市街		其某市街		其他		全管合計	
	總數	貨幣	穀類	衣類	家畜	雜品	總數	貨幣
再揭某市街								
其某市街								
其他								
全管合計								
何年								
何年								
何年								
何年								

第一編通規 本府統計書樣式

(内事課)

第二二八		變死人員												
事故	合計	男						女						
		何年	何年	何年	何年	何年	何年	何年	何年	何年	何年	何年		
自殺セシ人														
過失ニテ自死セシ人														
盜賊ニ殺サレシ人														
過失ニテ殺サレシ人														
種々ノ事故ニテ殺サレシ人														
途上ニテ病死セシ人														
死セシ棄兒														
獸害ニ因テ死セシ人														
天災ニ罹リ死セシ人														
事故不詳														

(各署)

第二一九		變死人員ノ署別												
署名	總數	再掲						其他						
		某某市街	某某市街	其他	某某市街	某某市街	其他	某某市街	某某市街	其他	某某市街	某某市街	其他	
署名	總數													
自殺セシ人														
過失ニテ自死セシ人														
盜賊ニ殺サレシ人														
過失ニテ殺サレシ人														
種々ノ事故ニテ殺サレシ人														
途上ニテ病死セシ人														
死セシ棄兒														
獸害ニ因テ死セシ人														
天災ニ罹リ死セシ人														
事故不詳														

(内事課)

第二二〇

變死セントシテ死ニ至ラサリシ人員

事故	男				女			
	何年	何年	何年	何年	何年	何年	何年	何年
自殺セントシ人								
過失ニテ自死セントシ人								
盜賊ニ殺サレントシ人								
過失ニテ殺サレントシ人								
種々ノ事故ニテ殺サレントシ人								
獸害ニ因テ死セントシ人								
天災ニ罹リ死セントシ人								
合計								

(各署)

第二二一

變死セントシテ死ニ至ラサリシ人員ノ署別

署名	總數	自殺セントシ人	過失ニテ死セントシ人	盜賊ニ殺サレントシ人	過失ニテ殺サレントシ人	種々ノ事故ニテ殺サレントシ人	獸害ニ因テ死セントシ人	天災ニ罹リ死セントシ人	全管合計			
									何年	何年	何年	何年
再掲 某某市 某某市 其他街									何年	何年	何年	何年

(各署)

第二三二

途上ニテ保護セラレシ人員

署名	乘兒		迷兒		途上發病者		瘋癲者	
	總數	男	女	總數	男	女	總數	男
再揭								
某某市								
其他街								
合計								
何何何何年								
何何何何年								
何何何何年								
何何何何年								

(各署)

第二三三

火災ニ罹リシ家

署名	全戸焼失セシ家		全戸焼失ニ至ラサリシ家		直ナニ消止メシ家		燒失セシ家屋ノ坪數	
	總數	放火及不審火	總數	放火及不審火	總數	放火及不審火	總數	放火及不審火
再揭								
某某市								
其他街								
合計								
何何何何年								
何何何何年								
何何何何年								
何何何何年								

第一編通規

本府統計書樣式

二百四十五

(各署)

第二二九

附加刑監視人員

十二月三十一日現在

何年	何年	何年	何年	全管合計	再揭 某市街 某市街 其他	署		總數
						男	女	

(各署)

第二三〇

特別監視人員

十二月三十一日現在

何年	何年	何年	何年	全管合計	再揭 某市街 某市街 其他	署		總數
						男	女	

(內事課
各署)

第二三三

民有ノ銃砲

十二月三十一日現在

郡區	銃		獵	
	總數	洋形	總數	洋形
合計				
何年				
何年				
何年				
何年				
威銃ハ獵銃ノ内ヘ算入スヘシ				

(內事課)

第二三四

銃砲彈藥ノ賣買

製造年次	免許商人ノ賣高		免許商人ノ買方		總數	外國品	內國品
	軍銃	獵銃	軍銃	獵銃			
何年					何	同	同
何年					何	同	同
何年					何	同	同
何年					何	同	同
何年					何	同	同
何年					何	同	同
何年					何	同	同
何年					何	同	同
何年					何	同	同
何年					何	同	同

(各署)

第二三五

取締ニ關スル諸營業

十二月三十一日現在

業名	市街			某國 (除街ナリ)	某國 (除街ナリ)	某國 (除街ナリ)	某國
	甲市街	乙市街	丙市街				
合計							
何年							
何年							
何年							
何年							
合計							
總數							

(各署)

第二三六

貸坐數

地名	年未現在		一年間ノ開業		一年間ノ廢業	
	何年	何年	何年	何年	何年	何年
合計						
本表ノ外引手茶屋アル方						
(東京府下神奈川茨城靜岡ノ三縣下)						
ニ於テハ本表ニ準シ其調ヲ掲載スベシ						

モノヲ記載スヘシ

第七條 指令ノ欄長官名ノ目ニハ郡區戶長伺人民諸願伺等凡長官名(府名トモ)ヲ以テシタル數ヲ記載シ警部長名ノ目ニハ署長稟議警部以下諸願又貸座敷娼妓願伺等ノ類警部長名(本署名トモ)ヲ以テ指令シタル數ヲ記載スヘシ

第八條 合議受ノ欄ニハ各課(監獄署モ)各部(永上署ノ商船事務モ包含ス)ヲ區別シ一切合議ヲ受ケタル數ヲ記載シ其二部以上ニ攀連スルモノハ各部ノ欄ヘ記載スヘシ

第九條 文書發來ノ欄ニハ本署直チニ往復スル文書(電信トモ)ハ勿論閣省其他ヨリ本府ニ到達シテ配付ヲ受ケタル文書及本府ヲ經テ發スル文書ト雖モ各自ヘ記載スヘシ其例概略左ノ如シ

- 一 閣省ノ目ニハ閣省内諸寮局トノ往復文書ヲモ記載スヘシ
- 一 閣省外各廳ノ目ニハ集治監造幣局鐵道局鑛山局遞信省管理局郵便局其他諸寮局出張所試驗所等ノ往復ヲ記載スヘシ
- 一 府縣ノ目ニハ北海道廳及府縣警察監獄郡區戶長等ノ往復文書ヲ記載スヘシ
- 一 雜ノ目ニハ内外官吏ノ出張先ニ係ル往復文書又管ノ内外ヲ問ハス後備軍駐在官酒造檢査員官國幣府縣社浦役場學校病院銀行博物塲等ノ往復文書ヲ記載スヘシ

十九年本達乙第二十號ヲ以テ樣式ヲ改正ス

第十條 捕拿犯罪ノ欄數罪俱發ニ係ルモノハ一ツノ重キニ從テ記載スヘシ

(日報樣式ハ略ス)

第十款 各署警察日報及事務取扱日報調製心得

●第丁第二十七號 明治十九年二月十三日 警察本署

明治十五年丁第四十三號ヲ以テ郡區警察日報調製書式ノ儀相達置候處該達ハ相廢候條自今其署ニ於テ便宜調製書式相定メ月報ヲ以上申可致此旨相達候事

○本甲第二十六號 明治十九年二月十七日 各 部 警察署

警察日報及事務取扱日報調製心得并樣式別紙之通相定メ來ル三月一日ヨリ施行候條此段相達候也

日報調製心得

第一條 日報ハ左ノ二種トシ午前零時ヨリ午後十二時ニ至ル間取扱ヒタル事件ヲ輯メ之ヲ各其項目ニ登記スヘシ

- 一 警察日報
 - 一 事務取扱日報
- 第二條 警察日報ハ左項ニ從ヒ取扱フヘシ
- 一 分署日報ハ署長又ハ代理者ニ於テ審査若クハ之ヲ調製シ其脱洩誤記ナ

- キヲ見認メタル上翌日速ニ本屬警察署へ送致スヘシ
- 二 警察署ニ在リテハ主任者ニ於テ所屬分署ヨリ送致ノ分ヲ審査シ且ツ直轄ノ事故ヲ併セ調製シ署長若クハ代理者ノ捺印ヲ受ク可シ
- 三 郡部警察署ハ毎五日上及區部會天警察署分署ノ分ハ郡部警察署ニ同シハ毎日午前十時迄ニ警察本署ニ送致ス可シ
- 第三條 警察日報記入ノ文字ハ數字ト數字ニアラサルトノ二様様式ニ示スカ如シトス又事務取扱日報ハ總テ數字ヲ以テ記入スヘシ
- 第四條 金員ハ厘穀類ハ合位ニ止メ捕拿犯罪ニシテ數罪俱獲ノモノハ一ノ重キニ因リ記入スヘシ
- 第五條 事務取扱日報ハ年表又ハ臨時調製ノ材料トナルモノニ付根分署ニ調製保存スヘシ
- 但シ該表中其署ニ關係ナキ項目ハ板本新調ノ節之ヲ除クヘシ
- 第六條 第二部ニ於テハ各警察署ヨリ送致スル警察日報ヲ速ニ精査合記シ各部ヲ經テ警部長ニ差出スヘシ
- 警察日報記載例
- 第七條 盜難事故欄ニ何件トアルハ總數ニシテ何戸何人トアルハ其内譯ナリト事故ニ其被害晝夜ノ區別ニ因リ尙之ヲ再記スヘシ

- 第八條 事故掲載欄ニシテ強盜遭難事件ハ其事故ノ難易ニ拘ハラサルモノトス而シテ竊盜詐欺遭難ハ金ニ拾圓以上衣類廿点以上其他價額金二十圓以上及警察官吏人民又ハ吏民協力實地被害ヲ救護シタル事故ヲ記載スヘシ
- 第九條 被害ニ對スル行兇發見數ノ目ハ上欄既得財未得財ノ目ヲ通用シ捕拿犯人ノ申供シタル行兇度數ヲ有罪ノ欄ト放還ノ欄トヲ區別シ記入スルモノトス例ヘハ其強盜ヲ捕獲シ押入リテ財ヲ得タルコト申供シ有罪トシテ裁判所等ニ交付スルルハ則有罪ノ欄強盜既得財ノ下ニ一ト記入シ又竊盜ニシテ未得財ヲ申供シ戒諭放還シタルルハ戒諭放還ノ欄竊盜未得財ノ下ニ一ト記入スルノ類
- 但他府縣下人民被害ノ發見數ハ除クヘシ
- 第十條 盜難ノ金品ハ總テ合計スヘキモノトス例ヘハ事故掲載欄ニ記載ノ金品ヲモ合計再記スル如シ
- 第十一條 捕拿事故ハ第五條ニ依リ各種目ニ記入スヘシト雖モ盜犯ニ非ラサル者ノ余罪輕キニ係ル盜犯發覺セシキ又ハ強盜ニシテ追劔ヲ爲シ竊盜ニシテ拘摸ヲ爲シ若シクハ強盜ニシテ竊盜拘摸ヲ爲シタル如キハ各其目ニ再記朱書スヘシ而シテ舉動犯ノ記入方ハ例セハ強盜犯ト思料スルモ證據具備セズ搜索中ニ係ルモノハ皆舉動犯ノ目ニ記入スヘキモノト事故ニ證據具備ス

レハ強盜犯ノ目ニ再記スヘシ

第十二條 捕拿事故揭載欄ハ様式ニ從ヒ記載スル種類左ノ如シ

一 警察官吏人民又ハ吏民協力捕拿スルニ當リ暴行ヲ加ヘ負傷セシメタル犯罪者

二 人民ノ捕拿シタル犯罪者

三 強盜及追剝犯

四 金廿圓以上衣類廿點以上其他價額二十圓以上ノ竊盜及詐欺犯

五 人命犯

第十三條 留置及傳遞ノ目ハ上欄ノ罪名ヲ通用シ留置ハ當日ノ留置人ヲ記入

シ傳遞ハ沿道繼傳遞ノ犯罪人員ヲ記入スヘシ例ヘハ甲署ヨリ乙署ヲ經テ丙

署ニ送致スレハ則乙署ハ繼傳遞ニ係ルヲ以テ乙署ノミ數ヲ記入スヘシ

第十四條 風震水火災ハ様式ニ從ヒ其事故ヲ記入スヘシ又人事檢視ハ殺死傷

ノ事故ヲ記入スヘキモノトス而シテ風震水火災ニ因リテ死傷者アルハ風

震水火災及人事檢視ノ各目ニ何件ト記スヘシ

第十五條 雜事欄内ハ長次官警部長第壹部巡視員及判任官以上ノ來署外國人

ノ事故其他緊要ノ事件ヲ載スヘシ

事務取扱日報記載例

第十六條 指令件數ノ欄ハ署員及人民諸願等其署ニ於テ指令セシ數ヲ記入スヘシ

第十七條 不勤ノ欄職務負傷ノ目ハ公務上負傷セシ人員ヲ記入スヘキモノト

ス故ニ入院自宅養生ニ拘ハラヌ不勤中ハ總テ該目ニ記入スヘシ

第十八條 文書往復ノ欄各局ノ目ハ造幣郵便鐵道局金庫局出張所等ノ往復數

ヲ記入シ各府縣警察監獄郡區戶長ノ往復ハ總テ府縣ノ目ヘ記入スヘシ又雜

ノ目ヘハ管ノ内外ニ拘ハラヌ酒造員檢査出張所滯役場官幣社銀行等ノ往復

數ヲ記入スヘシ

明治十年何年
何月何日

警察 日 報

何警察分署

盗難事故	晝夜	事故	掲載欄	被害者			
<p>強盗何件</p> <p>押込ニ 逃ヒシ 逃ヒシ 逃ヒシ 逃ヒシ</p> <p>△何人 △何人 △何人 △何人</p> <p>既得財 未得財 既得財 未得財</p> <p>奪ハレシ金品計</p>	<p>窃盗何件</p> <p>山林田 野ノ産 物ヲ盗 マレシ 道路共 地ニ於 テ盗レシ</p> <p>△何人 △何人 △何人</p> <p>既得財 未得財 未得財</p> <p>盗マレシ金品計</p>	<p>詐欺何件</p> <p>拐帶セ ラレシ 誑騙セ ラレシ</p> <p>△何人 △何人 △何人</p> <p>既得財 未得財 未得財</p> <p>拐帶誑騙セラレシ金品計</p>	<p>△何日時住所氏名方へ強盗何名押入り金何田衣何点奪取り逃走(セントスルナ家族茶火事ト呼ビテルヨリ近隣ノ者一時ニ立出騒ギ又ハ巡行巡査氏名方聞付取押ントスルヲ以テ金品ヲ投棄シ逃走シタリ)</p> <p>△何日時住所氏名ハ何往來ニ於テ追利三名ニ出遇ヒ何ヶ所ノ傷ヲ負ヒ金何田銀時計一個奪ハレシトスルモ逃セズ取組合ル折節非番巡査氏名方通り合ヒ逃走シ三名ハ協力シテ捕獲シテ有罪ニシタリ</p>	<p>△何日時住所氏名方へ窃盗忍ヒ入り金何拾田衣何十点窃盗セラレタリ</p> <p>△何日時住所氏名方主裁ニ強盗忍ヒ衣類ヲ取ラントスルヲ巡行巡査氏名覺知シ捕獲シタリ</p> <p>△何日時住所氏名ハ何所ニ於テ金何拾田銀時計ヲ盗レシ覺知シ取押ヘ告テシタリ</p> <p>△何日時住所氏名山林ニ於テ何水何拾本盗取セラレ又ハ田野ニ於テ何々何拾田銀時計ヲ盗シントスルヲ氏名見認テ盗取セラレ逃走セリ</p> <p>△何日時住所氏名ハ行商品ヲ持車ニ乘テ住所氏名門先へ差遣キ該家ニ立入り價銀置組中何何十点奪取セラレタリ</p>	<p>△何日時住所氏名ハ住所氏名ニ渡スベキ金何拾田衣何点委任氏名ニ委託セシニ其盛務帶逃走(盗車ニ乘込ミ何地ニ逃走セントスルヲ巡査氏名方取押ヘタリ)</p> <p>△何日時住所氏名ハ住所氏名ノ使下僮ハリ何品何拾点ヲ誑騙セラレタリ</p>	<p>金</p> <p>衣</p> <p>雜</p> <p>畜</p>	<p>被奪ニ對スル行 兇發見ノ數 有罪ニシテ放遣</p>

第一編電報 各署警察日誌及警察取換日報週報心得

里遊			視監		狀令		臨檢		民事裁判執行				屠畜				查檢							
場	遊	里	監	視	令	狀	檢	臨	地	所	民	判	裁	行	和	牛	猪	牛	和	人	宿	旅	口	戶
場	遊	里	監	視	令	狀	檢	臨	地	所	民	判	裁	行	和	牛	猪	牛	和	人	宿	旅	口	戶
越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員
越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員
越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員
越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員	越員

第十一款 警察報告月表調製心得

○本甲第八十二號 明治十九年六月廿六日

內事部 第二部 警察署

本年五月內務省令第七號ヲ以テ警察報告表樣式改正相成候ニ付テハ警察報告月表調製心得并樣式別紙之通相定候條存ニ照準可差出此段相達候也

但十五年^九月本甲第二百九十六號密賣淫取扱手續第十二條同^九月本甲第二百九十八號人力車事務取扱手續第十二條同乘合馬車事務取扱手續第十四條十七年^一月本甲第七號貸座敷娼妓取締規則取扱手續第十三條事件表及現員表同^五月本甲第六十三號同^六月本甲第六十九號同^七月本甲第八十三號同^九月本甲第六十六號同^{十一}月本甲第一百二十號同^{十八}年^一月本甲第十二號同^二月本甲第二十四號同^五月本甲第五十六號第九條同^六月內第十八號十九年^二月本甲第廿八號同^四月本甲第五十四號ノ各達ハ應止ス

警察報告月表調製心得

第一條 警察報告月表ハ明治十九年五月內務省令第七號警察報告表及當府警察統計表臨時表ノ材料ニ供スルヲ目的トス以下各條ニ基ツキ無遺漏事件ヲ輯集記載シ每翌月五日迄ニ送致スヘシ

第二條 月報記載ノ文字ハ數字ヲ用ヒ金穀坪數ハ厘合坪位ニ止メ而シテ其零位ナルキハ必ス零點ヲ記載スヘシ

第三條 記載スヘキ事實ナキ空欄アレハ「」ヲ填充シテ脱漏ニアラサルヲ證スヘシ

第四條 事實ヲ登記スルニ當リ憲兵ト相牽連スルモノハ憲兵ノ方ト重複ヲ防クカ爲メ憲兵ヨリ引繼キテ受ケタル事故ハ朱書シ憲兵ヘ引繼タル事故ハ渾テ除クモノトス

第五條 第一表欄内所轄町村ハ出郷又ハ字ヲ除キ獨立無人家ノ町村ヲモ掲ケ又戸數ハ本籍者ト本籍ナラサル者ト戸主ト戸主ナラサル者トヲ問ハス渾テ其地ニ現住シテ一世帯ヲナス竈數ヲ記載ス可シ其一軒内雜居ノ數竈ニ涉ルモノハ一竈ニ算シ空戸ハ除クヘシ
人口ハ同上ノ現住者ヲ記載スヘシ
前戸數人口ハ毎年十二月三十一日ノ數ヲ掲ケ他ハ毎月末ノ現在數ヲ記載ス可シ

第六條 第二表欄内盜難ハ一度ニ貳人以上ノ被害假ヘハ竊盜ニ遇ヒシ家ニテノ如キ家主并來泊人カ罹リシ類ハ其害一度ナルヲ以ト算シ記載スヘシ強盜ニ遇ヒシ家又ハ船ノ目ニハ住家又ハ航行碇泊中ノ船舶ニ在テ強盜ニ遭ヒタル數ヲ記載ス可シ

竊盜ニ遭ヒシ船ノ目ニハ船中又家ノ目ニハ住家ハ勿論田野山若林クハ屋外軒下預地干場ノ類ニ置タル物品ヲ竊盜セラレ又ハセラレントセシ數ヲ記載シ竊盜ニ遭ヒシ人ノ目ニハ旅店湯屋停車場渡船内若クハ道路拘摸ニ遭フ等ニ於テ財物ヲ盜マレ又ハ盜マレントセシ人ノ數ヲ登記スヘシ
盜難救護ノ欄ニハ盜難ニ罹ラントセシ現場ニ臨ミ救護シタル數ヲ記載スヘシ

第七條 第三表盜難物及盜贓物發見ノ事由欄内ニハ左ノ例ニ因リテ記載スヘシ
盜難物貨幣ノ目ニハ通貨ハ勿論舊貨幣金銀塊モ時價ニヨリ其代價ヲ算出シテ合記ス可シ
穀類ノ目ニハ米麥粉ハ大小豆ハ勿論蕎麥胡麻菜種ノ如キモ雜穀ト見做シ掲ク可シ其收穫前ニアリテハ見積リ數量ヲ記載スヘシ
衣類ノ目ニハ凡着服スヘキ長短ノ衣服ノミヲ記載スヘシ
雜品ノ目ニハ帶前掛ケ足袋ノ類田野ノ菜菓山林ノ竹木酒醬油種油石油等ノ流動物證書類有記名無記名公債証券私証券ハ幾種アルモノ一個トシ個數ノミヲ掲ク魚鳥其他ノ雜品ヲ掲ク其一束一把一樽一罐一俵一箱一籠ナルモノ各一個ト算シ又極小ナル魚鳥ノ如キ假ヘハ金魚假ヘハ類ハ一種ヲ一個ト算シ記載ス可シ

畜類ノ目ニハ牛馬羊豚飼犬ノ類ヲ記欄スヘシ
盜贓物發見ノ事由欄ニハ被害者ニ還付スルト否トヲ問ハス渾テ發見セシ數
ヲ記載スヘシ

第八條 第四表火災ノ欄軒數ノ目ニハ一竈一軒内雜居ノ數竈ニテ以テ一軒ト算シ
涉ルモノハ一竈トスヲ以テ一軒ト算シ
記入スヘシ官舎學校病院社寺等ナレハ一構ヲ以テ一軒ト算スヘシ然レハ一
構ノ内一棟又ハ二棟以上燒失セシキハ尙一軒ニ記載ス可シ

第九條 第五表火災救護ノ欄ニハ出火ニ至ラントスル消止メハ勿論濱地土藏
納屋離レ座敷等ノミノ燒失又ハ延燒ノ半燒引崩シノ類ヲ記載スヘシ
火災雜事欄ニハ船舶山林田野ノ出火其事實ヲ記載スヘシ

第十條 第六表欄内殺害ノ目ハ謀殺殺傷及過失殺傷セラレシ人ノ數ヲ掲クヘ
シ

十九年十月本達
乙第四十六號
一以第十條及第十
條改正

第十一條 第七表欄内變死入ノ因由ハ成ルヘク詳カニスルヲ要ス假ヘハ自殺
ニシテ精神錯亂シテ死セシ者ノ如キモ其因由米穀相場ノ損失ヨリ精神錯亂
セシト推知シ得タルキハ「米穀相場ノ損失ニ由テ精神錯亂シテ」ト總テ其推
究セシ事實ヲ掲ク可シ又自殺セシ人ノ年齡ハ凡ソ十年毎ニ區別アレハ其年
齡ノ詳ナラサルモノモ成ル可ク推究シテ登載スヘシ檢視上自殺ト見認ムル
モ死休腐敗シテ年齡詳ナラサルモノ、如キハ其實自殺トモ謀殺トモ判明

セサルモノナルニ因リ第六表不詳ノ目ヘ掲クヘシ

第十二條 第八表警察上保護雜事欄内遺失漂着埋藏物盜賊ノ置捨逸走諸畜ノ
各目ヘ記載スルニハ盜贓物タルヤ否ヤヲ能ク調査シテ掲クヘシ其盜贓物タ
ルモノハ届ケノ如何ニ不拘又記載後盜贓物タルヲ發見セシキハ重複ニ涉
ルモノ再ヒ第三
表盜贓物發見ノ事由欄内ニ記載スヘシ

第十三條 第九表第十表就捕犯罪人員ハ逮捕上他府縣ヘ相牽連スル場合ハ犯
人ノ捕ニ就キシ地ニ於テ記入シ管内各署ヘ牽連スルモノハ終結ヲナセシ警
察署ニ於テ掲クニ罪以上俱發ノ者ハ一ノ重キニ因テ記入ス可シ而シテ就捕
犯罪人員ハ告發并証據微罪戒諭放還及証據不充解放還ノ三種ニ區別シ其記
載方左ノ如シ第九表就捕犯罪告發人員ノ欄ニハ各裁判所他府縣警察署等ヘ
送致シタルモノヲ記載スヘシ而シテ第九ノ二表ノ内譯表ト符合スルモノト
ス

第十表上欄証據微罪戒諭放還者各目ニハ証據微罪ニテ署限リ解放セシモノ
ヲ掲ケ又下欄証據不充解放者ノ目ニハ証據不充分ニシテ署限リ解放セシ
モノヲ記載スヘシ而シテ上欄証據微罪戒諭放還者ハ第十ノ二表内譯表ト符
合スルモノトス

但違警罪及勾留科料ニ係ル諸規則犯公判上無罪免訴ノ言渡ヲ爲シタルモ

ノハ第九表ニ掲ケ公判ヲ開カス證據微罪ニテ戒諭放還セシモノハ第十表上欄ニ證據不充分ト思料シテ公判ヲ開カス放還セシモノハ下欄ニ記載スヘシ

第十四條 第十一表監視人員逃走シタル者前月報欄内ヘ記載後捕ニ就キタル者ハ重複ヲ防クカ爲メ員外トナシ相當ノ目ニ朱書スヘシ

管内甲署ニ執行中ノ者逃走シテ乙署ニ捕拿セシキハ乙署ハ報告シ甲署ニ於テ員數ヲ記載スルモノトス

管内各署間ノ入住者ト出住者ハ全管内合計上付合スルモノニ付出入ノアリタル警察署名及員數ヲ表中備考欄内ヘ記載スヘシ

第十五條 第十二表取締ニ關スル諸營業者一人ニシテ數箇ノ營業ヲ兼業スルモノ、如キ人員ノ數ヨリ見レハ重複ニ涉ルモ各其業ノ目ヘ分記スヘシ

第十六條 第十三表諸場ノ欄ヘハ警察ノ主管ニ係ルモノハ勿論郡區役所ノ通報ニ因リテ知り得タルモノヲモ記載スヘシ

第十七條 第十四表欄内埋火葬者人員欄内流行病ノ目ニハ第十五表欄内ニ掲クル七病ノ死者ヲ記入スヘシ

第十八條 第十六表娼妓貸座敷業密賣淫者處斷ノ欄ニハ過料ニ處セラレタルモノハ總テ過料ノ目ニ記入スヘシ其内無資力者ハ過料不納ニシテ苦使ニ換

ヘタル者ノ目ニ複記ス可シ

第十九條 第十七表警察上ニ死傷セシ人員第六表ニ登記シタル中ニ就キ盜賊ニ殺傷セラレシ者若クハ水火災消防等ノ事故ニ因テ死傷セシ人員ヲ記載スヘシ

第二十條 第十八表欄内ノ褒賞療治料等事故異ナリ日時ニ下賜セラレモノハ數箇ニ算出スヘシ

第二十一條 第十九表品觸實効ハ古物商質屋等ヨリ品觸レニ因リ買取又ハ典買品ノ該當若クハ類似シ訴出タル點數ノ相當第三表盜贓物發見事由欄内再記ス不相當訴人員及其訴ニ因リ犯人就縛第九表及第十表上欄不就縛トテ記載スヘシ

品觸ヲ待タス訴出タルモノハ前項ニ倣ヒ朱記スルモノトス

第二十二條 第二十表乃至廿二表賭博犯ハ本署第二部ニ送致テ受ケタル人員ノ數ヲ掲ク各警察署ニ關係ナキモノトス

第二十三條 警察署ニ於テ拘留ノ刑ニ處セラレタル囚徒ヲ便宜執行セシモノ及換刑執行ノモノアルキハ第廿三表違警罪勾留及換刑輕禁錮經理月報ヘ様式ニ倣ヒ調製シ二通送附スヘシ其事故ナキ時ハナキ旨ヲ報告スヘシ

經理月報中罹病ノ目ハ罹病コテ作業ヲ爲サ、ルモノヲ記入シ其服藥ヲシテ作業スルモノハ記載スルニ及ハス

第二 盜難及救護

事 故	盜 難		救 護	
	盜 難	救 護	警 察 官 吏 人 員 民 吏 民 力	計
強 盜	二 遇 ヒ シ 家			
	二 遇 ヒ シ 船			
	追 刺 二 遇 ヒ シ 人			
計				
窃 盜	二 遇 ヒ シ 家			
	二 遇 ヒ シ 船			
	二 遇 ヒ シ 人			
	拘 捕 二 遇 ヒ シ 人			
計				
合 計	拐 帶 詐 騙 等 二 遇 ヒ シ 人			

第三 盜難物及盜難物發見ノ事由品目

種 別	件 數	貨 幣	穀 類		衣 類		雜 品		家 畜		貨 幣 計
			數 量	代 價	箇 數	代 價	箇 數	代 價	頭 數	代 價	
一 胡 亂 者 取 財 等											
二 家 宅 搜 査 等											
三 官 吏 探 偵 上 其 他 差 押 等											
四 盜 犯 取 財 等											
五 犯 人 現 二 所 持 七 シ 等											
六 自 首 七 シ 等											
七 犯 人 ノ 隠 匿 又 ハ 重 査 等											
八 事 主 ノ 取 押 又 ハ 告 訴 告 發 等											
九 被 害 者 二 投 遞 七 シ 等											
十 拾 物 ノ 届 出 等											
十一 古 物 商 ノ 届 出 等											
十二 質 屋 ノ 届 出 等											
十三 兩 換 商 ノ 届 出 等											
十四 犯 人 ノ 家 族 密 告 等											
十五 贓 物 預 り 人 ノ 密 告 等											

由 事 ノ 見 發 物 賊 盜

第一編 通規 警 察 報 告 月 表 調 製 表 心 得

第七 變死人ノ所爲年齢及因由

二百八十四

自 殺 人		因 由		合 計	
合 計	因 由	因 由		合 計	因 由
		前非子悔ヒテ 活計ノ困難ニ因テ 親族ノ不仲ニ因テ 犯罪ノ發覺子懼レテ 痴情ニ因テ	活計ノ困難ニ因テ 親族ノ不仲ニ因テ 犯罪ノ發覺子懼レテ 痴情ニ因テ		
		男	女	男	女
		未 十 六 歲	以 十 六 歲 上 歲	未 十 六 歲	以 十 六 歲 上 歲
		男	女	男	女
		以 二 十 歲 上 歲	以 三 十 歲 上 歲	以 二 十 歲 上 歲	以 三 十 歲 上 歲
		男	女	男	女
		以 四 十 歲 上 歲	以 五 十 歲 上 歲	以 四 十 歲 上 歲	以 五 十 歲 上 歲
		男	女	男	女
		計	計	計	計

殺 害 人		誤 死 人		合 計	
合 計	因 由	因 由		合 計	因 由
		押入シ盜賊ニ 途上ニテ盜賊ニ 盜賊ヲ捕ヘントシテ 捕ヲ拒ミシニヨリ 暴行ニヨリ 怨恨ニヨリ 痴情ニヨリ 過失ニテ	活計ノ困難ニ因テ 親族ノ不仲ニ因テ 犯罪ノ發覺子懼レテ 痴情ニ因テ		
		男	女	男	女
		未 十 六 歲	以 十 六 歲 上 歲	未 十 六 歲	以 十 六 歲 上 歲
		男	女	男	女
		以 二 十 歲 上 歲	以 三 十 歲 上 歲	以 二 十 歲 上 歲	以 三 十 歲 上 歲
		男	女	男	女
		以 四 十 歲 上 歲	以 五 十 歲 上 歲	以 四 十 歲 上 歲	以 五 十 歲 上 歲
		男	女	男	女
		計	計	計	計

第一編通規 警察報告月表調製心得

二百八十五

罪狀	性		現行犯	非現行犯	計	自首合計
	男	女				
竊盜セシ者						
拍摸セシ者						
詐欺騙取セシ者						
放火セシ者						
貨幣偽造ニ關スル者						
違警罪ヲ犯セシ者						
何種資料ニ證據ニ係ル諸規則ヲ犯セシ者						
監視規則ヲ犯セシ者						
輕罪ニ係ル諸規則ヲ犯セシ者						
刑法諸犯罪者						
總計						

二百八十八

第九ノ二 就捕犯罪告發人員内譯

罪名	男	女	計
假ハ皇室ニ對スル罪			
第百十七條 皇陵ニ對シ不敬ノ所爲アル者			
第何條 何々シタル者			
國事ニ關スル罪			
第百廿二條 内乱ヲ起スノ目的ヲ以兵器ヲ劫掠シタル者			
第何條 何々シタル者			
靜謐ヲ害スル罪			
第百三十九條 官吏其職務ヲ執行スルニ當リ抗拒シタル者			
第何條 何々シタル者			
第百四十二條 已決囚徒逃走シタル者			
第何條 何々シタル者			
信用ヲ害スル罪			
第何條 何々シタル者			
健康ヲ害スル罪			
第何條 何々シタル者			
風俗ヲ害スル罪			
第何條 何々シタル者			
死屍ヲ毀棄シ及墳墓ヲ發掘スル罪			
第何條 何々シタル者			
商業及農工ノ業ヲ妨害スル罪			
第何條 何々シタル者			

一線通規

警察報告月表調製心得

二百八十九

罪名	男	女	計
官吏瀆職ノ罪			
第何條 何々シタル者			
身六ニ對スル罪			
第何條 何々シタル者			
財產ニ對スル罪			
第何條 何々シタル者			
輕罪ニ係ル諸規則犯			
十五年第五十號布告郵便條例ニ違背シタル者			
十六年第四十六號布告徵兵令ヲ犯シタル者			
十七年第一號布告證券印稅規則ヲ犯シタル者			
何年何號勅令何々規則ヲ犯シタル者			
合 計			
進警罪及勾留科料ニ係ル諸規則犯			
刑注進警罪			
第四百廿五條 一項規則ヲ遵守セスシテ火蒸子運搬シタル者			
何項 何々シタル者			
第四百廿六條 一項 人家ノ近傍ニ於テ漫リニ火ヲ焚ク者			
何項 何々シタル者			
第四百廿七條 八項警察ノ規則ニ違背シテ工商ノ業ヲシタル者			
何項 何々シタル者			
第四百廿八條 何項 何々シタル者			

第四百廿九條 二項車馬道路ニ横タヘ行人ノ妨害ヲナシタル者			
何項 何々シタル者			
大阪府違警罪			
第一條 一項病死ノ禽獸ナルヲ知テ食料ノ爲メ販賣シタル者			
何項 何々シタル者			
第二條 二項他人門戸内ニ於テ濫リニ紙屑類ヲ拾取タル者			
何項 何々シタル者			
第三條 十一項人力車馬車取締規則ニ違背シタル者			
何項 何々シタル者			
第四條 九項正當ノ事由ナシ本府官署ヲ呼出ニ應ゼサル者			
何項 何々シタル者			
第五條 九項市街店先ニ於テ袒裼裸體シタル者			
何項 何々シタル者			
他府縣違警罪			
何府 何々シタル者			
何縣 何々シタル者			
勾留科料ニ係ル諸規則犯			
十五年第五十二號布告郵便條例犯シタル者			
十七年第一號布告證券印稅規則ヲ犯シタル者			
何年何號勅令何々ヲ犯シタル者			
合 計			

第一編通規 警察報告月表調製心得

考備視監

第十二 取締三關ノル諸營業

業名	前月未 現員	本月開業 廢業禁止	本月未 現員	本月末 現員	本月末現員ノ内 家族現員ノ内 現員
古道具商					
古書商					
古着商					
古銅鐵商					
古金銀商					
袋物商					
小間物商					
時計商					
飾打商					
箔管商					
烟管商					
刀商					
肩商					
小計					

二百九十六

業名

業名	前月未 現員	本月開業 廢業禁止	本月未 現員	本月末 現員	本月末 現員
質屋					
水雪營業人					
飲料水營業人					
屠牛營業人					
炭宿人					
船宿人					
荷主宿人					
下宿人					
木賃宿人					
雇人受宿人					
人力車營業人					
同馬車營業人					
同馬車營業人					
藝妓					
娼座					
銃砲免許商					
火藥免許商					
銃砲製造人					
火藥製造人					
湯屋					
彫刻業					
寄席業					
觀物業					
遊藝業					
何業					
合計					

種別	現馬車力		現牛屠
	二正立馬車	一正立馬車	
松島			
新島			
安島			
堀江			
別			
現貨座數			
現員失蹤			
現員失蹤			

第一編通規

警察報告月表調製心得

二百九十七

第十三 諸場

場所名	前月未	本月間	本月間	場所名	前月未	本月間	本月末
	現在	開場	廢場禁止		現在	開場	廢場禁止
定設劇場				烟火製造所			
定設寄席				何々製造所			
定設觀物場							
定設遊技場							
定設貯藏所							
火藥貯藏所							
礦山火藥貯藏所							
屠牛場							
死畜解剖場							
墓地							
內火葬場							
合計				定設魚市場			
				定設青物市場			
				定設何市場			

二百九十八

第十四 埋火葬者人員

病名	埋		火葬		合計
	男	女	男	女	
傳染流行病					
變通					
合計					

第十五 流行病者人員

病名	新患		舊患		合計
	死	全	未	治	
虎列刺					
獨室扶斯					
發疹室扶斯					
實布亞					
赤痢					
瘧疾					
合計					

第十六 娼妓貸座敷業及密賣淫者ノ處斷

種類	過料苦使		過料苦使		合計
	過料	苦使	過料	苦使	
娼妓					
貸座敷					
密賣淫者					
合計					

第一編 通規

警察報告月表調製心得

二百九十九

第十七 警察上ニ死傷セシ人員

種目	死		傷	
	警察官吏	人民合計	警察官吏	人民合計
盜賊ノ拒捕ニ由リ				
脫走人逮捕ニ由リ				
人命救助ニ由リ				
火災消防ニ由リ				
合計				

三百

第十八 警察上ノ褒賞及給助

種目	人員		金	
	人員	員	員	員
賞				
褒				
給助				
合計				

第十九 品觸實効

何月	訴		物袋	小問物	煙飾	管煙	甲	金	打	計	着	具	鐵	本	劍	書	質	行	員	人	訴	
	日	日																				否
一	日	日																				
二	日	日																				
三	日	日																				
四	日	日																				
五	日	日																				
六	日	日																				
七	日	日																				
八	日	日																				
九	日	日																				
十	日	日																				
十一	日	日																				
十二	日	日																				
十三	日	日																				
十四	日	日																				
十五	日	日																				

第一編通規 警察報告月表調製心得

三百一

表面之通相違無之候也

何警察署長

官氏名印

警部長宛

明治何年何月何日

凡例

- 一前月越高ノ欄へハ本年一月以降送致セシ事件ニシテ六月迄ニ結了セシモノヲ除クノ外未済事件ヲ之ニ掲ケ面シテ八月分調製スルハ前月則七月ノ未済事件ヲ之ニ掲クルモノトス
- 一既済ノ欄へハ該月中檢事詰係員ヨリ報告ヲ受ケタル内結了セシモノヲ各區別シテ掲載ス
- 但前月ニ於テ既ニ結了セシヲ偶々誤脱セシハ其報告ヲ得タル月ヲ以テ記入スヘシ
- 一重罪其他ノ裁判所へ送致セシハ追テ結了ノ報告ヲ得テ記入スヘシ
- 一一事件ニシテ數件ニ涉ルハ假令ハ一件三人ノ内壹名ハ受刑壹人ハ棄却壹人ハ無罪ナル如キハ受刑ニ一件一人ト墨書シ他ノ件數ハ朱書スヘシ
- 一空欄ヲ生スルハ圈点ヲ施シ脱漏ニアラサルヲ表スヘシ

一棄却又ハ無罪免訴ニ係ルモノハ其罪質及ヒ事由ヲ備考ニ畧記スルヲ要ス
 ○本甲第二百二十一號 明治十六年十二月十四日 警察署
 司法警察官ニ於テ取調檢事へ送致シタル被告事件ノ結局取調ノ都合有之自今檢事へ送致スル都度別紙甲號ノ様式ニ倣ヒ報告表ヲ製シ檢事局巡查ニ報告シ其巡查ニ於テ結末欄内へ事由ヲ摘記シ置キ更ニ乙號様式ニ倣ヒ各署ヲ區分シ一ヶ月分取纏メ翌月七日限リ該署へ差出シ同署ニ於テハ件名簿ニ記入シ十五日限リ第二部へ可差出此段及通達候也

甲號

被告人檢事へ送致報告表

何警察署

何年 何月何日	何年 何月何日	何 號	何 號	竊盜 故買 牙保 寄藏 受寄	見込	結	未	府縣 名	被告 人氏名
何 月 何 日	何 月 何 日	何 號	何 號	何 何 何	々 々 々			大坂 兵庫 京都 都	何 何 某 某

第十六款 政表

●庶務課長通牒庶第二七一五號 明治十八年十二月三日 課署長
 一月政始ニアタリ政表ヲ呈シ或ハ呈セラレサル向有之一定不致候處自今必ス
 差出サレ候様致度右長官ノ旨ニ依リ此段及御内牒候也

●庶務課長照會庶第二七四四號 明治十九年十一月廿五日

毎年一月ノ政始ニ各課事務ノ功程ヲ具ヘ長官ヘ差出スノ成規ニ有之候處先般
 内務省報告令ニヨリ管内ノ事務及景況報告方定メラレ候ニ付テハ同性質ノ事
 ナ同時ニ二様ニ調査スル様相成候テハ非常ノ時日ト手數ヲ要スヘクニ付政始
 表ヲ製スルニハ可成内務半年報ト同様ニ御取調相成候様致度此段及御照會候
 也

第七章 會議

一 課署長會議規則

●丁第十六號 明治十六年二月十日

警察本署

部署長會議規則別冊之通改定候條此旨相達候事

部署長會議規則

第一條 本會ハ警察上ノ得失ヲ審議シ各署處分ノ均一ヲ覓ムルヲ以テ旨趣ト
 ス

第二條 本會ヲ左ノ三類ト爲シ又各會ヲ分テ決議會協議會ノ二種ト爲ス

一 部長及ヒ市郡各署會

二 部長及ヒ市中各署長會

三 各分署長會

第三條 前條第一第二ハ毎月一會宛第三ハ一ヶ年二會本署ニ於テ開會ス其時
 日ハ會長之ヲ定ム

第四條 會長ハ本署長ヲ以テ之ニ充テ幹事書記ヲ必要トスル場合ハ會長臨時
 之ヲ撰定スルモノトス

第五條 會長ハ議場ヲ整理シ會員ノ發言ヲ中止シ又ハ重複無用ノ論辨ナリト
 認ムルハ之ヲ制止スルヲ得

第六條 會長ハ會員ノ需メニ依リ又ハ自己ノ意見ヲ以テ決議會或ハ協議會ト
 爲スヲ得

第七條 議會ニ付セントスル按件ハ筆録シテ會長ニ提出ス可シ其協議會ニ付
 スヘキモノト思料スルハ口述ヲ以テスルモ妨ナシトス

第八條 本會ノ議決ハ各員職權内ニテ施行シ得可キモノヲ除ク外直ニ之ヲ賞
 行スルヲ得ス

第九條 決議會ハ左ノ各項ニ從フ但協議會ト雖モ會長ニ於テ必要トスル場合

ハ之ヲ適用スルコトアル可シ

一發言セントスル時ハ起立シテ會長ト呼ビ自己ノ姓ヲ唱ヘ其許可ヲ得テ會長ニ對シ意見ヲ陳述ス可シ會員互ニ應答スルコトヲ得ス

一二人以上同時ニ起立シタルハ會長其一人ヲ呼ビ發言セシム

一贊成者ナキ動議ハ之ヲ議題ト爲サス

一一議件終ラカルニ他ノ事件ヲ發議シ又ハ質問スルコトヲ許サス

一會議ノ可否ヲ決スルハ過半數ニ依ル可シ同數ナルハ會長自ラ之ヲ決ス

○本甲第七十二號 明治十六年十月二日 各署
各警察署長會日左之通改正候條此段及通達候也

市郡各署長會 毎月第一月曜日

市街各署長會 全 第三水曜日

○本乙第二十二號 明治十九年三月十一日

安治川水上 郡部 警察署

明治十五年九月丁第百三十三號達郡部警察聯合會廢止ノ儀左之通被達候條來ル四月ヨリ隔月一回事務爲打合市郡各署長會前日午后一時ヨリ警察本署ニ於テ會合スヘシ且時宜ニ依リ各部長ノ中ヲシテ臨會セシムルコトアルヘシ此段相達候也

●丁第三十七號 明治十九年三月十日

警察本署

明治十五年九月丁第百三十三號達ハ自今廢止ス此旨相達候事

第二款 內勤會議概則附外勤會議

○本乙第廿六號 明治十七年三月廿七日

水上區部會 根崎天王寺 警察署

自今毎月第三土曜日ヲ以テ正午十二時ヨリ本署ニ於テ內勤會議相開候條上席內勤一名宛出場セシムヘシ此段及通達候也

內勤會議概則

第一條 本會ハ專ラ內勤事務取扱方ヲ協議シ互相氣脈ヲ密接ナラシメ處分ノ均一ヲ覓ムルヲ以テ趣旨トス

第二條 本會ハ毎月第三土曜日正午十二時ヨリ本署ニ於テ之レヲ開ク

第三條 會員ハ市街各署會根崎天王寺及水上警察署ノ上席內勤各一名宛トナス但上席內勤事故アルハ次席ノ警部ヲシテ代理セシム

第四條 會長ハ本署各部長ノ内ヲ以テ之レニ充ツ

第五條 協議ノ事項ニ依リ本署各部長ヲ以テ臨時會員トナシ出場セシムルコトアルヘシ

第六條 協議ニ付スヘキ事項ハ筆記シテ提出シ又ハ口述スルモ妨ケナシ

第七條 決議ハ惣テ會長ノ意見ニ從テ其重大ニ涉ルモノハ警部長ノ指揮ヲ乞フヘシ

○乙第三十六號 明治十五年五月二日

市中各署
堺署
奈良署

各署行政事務取扱上異同ナキ様自今毎月一部ニ一回宛外勤會議ヲ開キ當直外勤
席諸事審議可致此段及通達候也

但シ會日ハ各署ニ於テ相定メ其旨可届出事

第三款 分署長會議

○本乙第七十九號 明治十七年十一月廿二日

郡部警察署
水上警察署

各分署事務取扱上異同ナキ様自今毎月一回本屬警察署ニ於テ分署長會議ヲ開キ署長會頭トナリ諸事審議可致此段及通達候也

但會日ヲ定メ届出ヘシ

○本乙第八十二號 明治十七年十一月二十二日

郡部警察署
安治川水上警察署

警察ニ關スル法律規則ノ發令アリタルハ分署長會議ニ於テ其精神並ニ執行ノ手續ヲ討究シ其決議ノ要領ヲ記錄シ根署長ヨリ可差出此段及通達候也

第四款 巡查會議心得

○本甲第七號 明治十五年四月十五日

各署

明治十二年十月甲第四百四十五號達中巡查會議規則左之通り更正候條此段及通達候也

巡查會議心得

第一條 本會ノ趣旨ハ警察ノ成規ヲ講究シ及ヒ實際行務上ニ付便否得失ノ意見ヲ陳述スルニアリ

第二條 會員ハ非番ニ該ル一部外勤以下總員トス

但當直外勤ハ事務ノ都合ヲ以テ可及的臨場スヘシ

第三條 會日ニハ警部警部補市中堺奈良署ハ上席外勤其他
根署ハ根署詰分署ハ分署長之カ會頭トナリ會員ノ質問ニ答ヘ其決シ難キモノハ署長ノ指揮ヲ受クヘシ

第四條 署長ハ可成各部ノ會ニ臨席シ其陳述ヲ聽テ指揮命令スルコトアルヘシ

第五條 市署及堺奈良署ノ會キハ甲部ハ毎月十日乙部ハ廿一日ヲ以テ會議定

日トス其他根署ハ毎月十日分署ハ毎月廿一日ヲ定日トシ非番休憩惣員トス但定日當番ニ該ル時ハ願延スヘシ

第六條 開會時間ハ當日午后第一時ヨリ同第三時迄ト豫定スト雖日議事ノ都合ニヨリ會頭之ヲ伸縮スルコトヲ得

第七條 發議者ハ必ス一人宛タルヘシ二人以上同時ニ於テスル時ハ會頭之ヲ

十八年本甲第三
十四號ヲ以テ但
書ヲ删除ス

十五年本甲第三
百六十六號ヲ以
テ第三條ヲ改正
シテ第四條ヲ第
五條トシテ下條
トシテ更ニ第四
條トシテ第三十
八號ヲ以テ第三
十條トシテ第十
五條中若千字ヲ
改正ス

停止スヘシ

第八條 會頭ハ議事ヲ提起シ議員ノ發議ヲ促シ其論說ノ當否ヲ辨明スルヲ要ス

但會員ト討論スルヲ得ス

第九條 會議決ハ會頭之ヲ取ルト雖モ事重大ニ涉リ署長決シ難キ條件ハ本署長ニ具申シ指揮ヲ乞フ可シ

十五年本甲第三
百六十六號ヲ以
テ第八條ヲ改正
シテ第九條ニ逐
條操下ク

第十條 職務外ノ事ヲ論議スルヲ禁ス若シ犯スモノアルキハ會頭之ヲ停止スヘシ

第十一條 本會議決ノ條件ハ警察本署長ニ申稟シ其權限内ニ係ルハ直ニ施行スルモノトス

第十二條 毎年七月十一日ヨリ九月十日迄休會ス

第八章 進退及賞罰

第一款 巡查採用規則

●應達第二十七號 明治十九年九月三日

警察本部

巡查採用規則左ノ通り相定ム

但十六年丁第三十二號達巡查召募規則ハ廢止ス

十九年本甲第七
十五號ヲ以追加

巡查採用規則

第一條 巡查ハ試験ノ上採用ス可キモノトス

第二條 左ノ諸件ニ適合スル者ニアラサレハ巡查ニ採用スルヲ得ス

一 年齢二十一年以上三十五年以下ニシテ徴兵ニ相當セサル者

二 身幹五尺一寸以上ノ者

三 五ヶ年以上ナキ者勤績ニ差支

四 第四條ノ体格ニ適合スル者

五 第五條ノ技藝ニ適合スル者

第三條 前條ニ適合セルモノト雖モ左ノ諸件ニ抵觸スルモノハ採用スルヲ得ス

一 輕禁錮以上ノ刑ニ處セラレ又ハ賭博犯處分規則ニ依リ懲罰ニ處セラレ若クハ舊法破産耻辱罪ノ刑ニ處セラレタルモノ單ニ監視ニ附セラレタル者亦同シ

但シ情狀ニ依リ採用スルヲアル可シ

二 巡查懲罰例又ハ官吏懲戒例ニ依リ免職セラレ貳ヶ年ヲ經過セサルモノ

三 身分不相應ノ負債アル者又ハ身代限ノ處分ヲ受ケ辨償ノ義務ヲ終ヘサル者

- 四 不品行又ハ暴行酒癖アル者
- 五 商業ヲ營ム者
- 第四條 體格ハ左ノ諸項ニ適合スルヲ以テ合格トス
 - 一 體質善良ノ者即チ左ノ缺所ナキ者
 - 四肢完全セサル者
 - 但執筆把握ニ差支サル指ノ萎少彎屈強直等ノ類ハ此限ニアラス
 - 胸腔機關及ヒ腹内臟器若クハ皮膚病較著ノ疾病アルモノ
 - 但較著ノ疾病ニアラサルモ全身機關ノ機能減衰ノ者亦同シ
 - 服裝又ハ運動ニ不便ナル者
 - 贅生物畸形等容貌體勢醜惡ナル者
 - 二 胸圍大約其身長ノ半ニ等シク呼吸縮長ノ差壹寸以上ノ者
 - 三 兩眼共視力三分ノ二以上ノ者
 - 四 辨色力完全ノ者
 - 五 聽力六尺ノ距離ニ於テ低語ヲ聽識シ得ル者
 - 六 言語應答明瞭ニシテ充分發聲ニ堪ユル者
 - 七 精神完全ナル者
- 第五條 技藝ハ左ノ諸項ニ適合スルヲ以テ合格トス

- 一 讀書
 - 警察法規警務要書刑法治罪法日本外史日本政記ノ類ヲ誦讀シ其意義ヲ解シ得ル者
- 二 作文
 - 普通ノ往復文ヲ作り得ル者
- 三 寫字
 - 普通ノ文字ヲ寫シ通讀シ難カラサル者
- 四 算術
 - 加減若クハ容易ナル乘除ヲ爲シ得ル者
- 五 擊劍
- 第六條 巡查志願ノ者ハ第一號書式ノ志願書ニ履歷書ヲ添ヘ警察本部へ差出スヘシ
- 第七條 試驗合格ノ者ハ保證人ト共ニ出頭シ第二號書式ニ倣ヒ誓約書及保證書ヲ出スヘシ
- 第八條 保證人ハ當府下住居ノ者ニ限ル若シ他管ニ轉シ又ハ其他事故アリテ變更ヲ爲スルハ更ニ第三號書式ノ保證書ヲ出スヘシ
- 但巡查警察雇兵卒又ハ戶主ニアラサル婦人及未丁年者若クハ白痴瘋癲等

ノ者ハ保證人タルヲ得ス
第壹號書式

巡查志願書

私義當府巡查志願ニ付御試檢奉願候也

何_府何_郡何_町何_{番地}住(寄留)

何_府何_郡何_町何_{番地}(士族)某長次男

年號月日

志願人

何
當何年何月
何十年何ヶ月
某印

肩書同前

保證人

何
某印

同上

前書願之趣相違無之候條與印候也

何_町

戶長

何

某印

第二號書式

巡查奉職中誓約書

私義今般巡查職志願御試檢相濟候ニ付御採用ノ上ハ(他向奉職ノ者ヨリ轉任ノ者ハ)今般當府巡

十九年應達第五
十九號ヲ以テ但
書改正

拜命候ニ付)左ノ條目誓テ確守可致候事

一 職務規則ハ勿論時々御達ノ趣謹テ相守可申候事

二 職務權外ノ事ヲ猥リニ議論致ス間敷事

三 奉職五ヶ年未滿ニシテ退職ヲ願出候儀決シテ致間敷事

但奉職ニ堪ヘサル疾病ニ罹リタル節公立病院長又ハ所屬署長指命ノ
醫師診斷書ヲ以願出若クハ父母重病ニ罹リ自己ノ外看護スヘキ家族
ナク或ハ不慮ノ變災ニ罹リ他ニ一家ヲ保持スヘキ者ナキ場合ニ於テ

ハ原籍所轄警察署ノ證明書ヲ以テ退職情願スルハ格別ノ事

四 猥リニ金錢ヲ借り或ハ物ヲ買ヒ其價ヲ借ル等ノ儀決シテ致ス間敷事

五 警察署中ノ自守盟約可致事

何_府何_郡何_町何_{番地}住(寄留)

何_府何_郡何_町何_{番地}(士族)某長二男

年號月日

何

某印

右何之誰義今般巡查職志願致シ御試驗相濟候ニ付御採用ノ上ハ(他向奉職ノ者ヨリ轉任ノ者ハ)今般巡查拜命候就テハ)御規則ヲ遵奉セシメ右誓約ノ條目確守可爲致ハ勿論
御府ニ對シ不都合有之節ハ何事ニヨラス萬事引受屹度辦理可仕依テ保證如此
候也

但私他管下へ移住或ハ旅行等ノ節ハ代人相立可申候也

大阪府何_郡何_町何番地住(寄留)

何府縣何_郡何_町何番地(士族)

何_{平民} 某印

年號月日

大阪府知事宛

第三號書式

何府縣何_郡何_町何番地(寄留)

何府縣何_郡何_町何番地(士族)

何_{平民} 某印

何 某印

右ハ當府巡查奉職中何誰保證能任候處同人義今般何_府何_郡何_町何_村へ轉住(又ハ死亡)致候ニ付私ニ於テ御規則其他誓約ノ條目確守可爲致ハ勿論御府ニ對シ不都合有之節ハ何事ニ依ラス萬事引受屹度辦理可仕依テ保證如此候也追テ私他管下へ移住或ハ旅行等ノ節ハ代人相立可申候也

大阪府何_郡何_町何番地住(寄留)

何府縣何_郡何_町何番地(士族)

何_{平民} 某印

年號月日

大阪府知事宛

何 某印

第二款 巡查採用検査手續

○本達乙第廿號 明治十九年九月十四日 第一課

第一課

巡查採用検査手續左之通定ム

但十六年本乙第六十六號達巡查志願人試験手續ハ廢止ス

巡查採用検査手續

第一條 巡查志願者ニハ巡查採用規則第一號書式ノ志願書并ニ履歷書ヲ差出サシム可シ

第二條 志願者ノ體格ハ府立病院醫師ヲシテ検査セシム合格ノ者ハ検査表ニ原籍身分等ノ記入ヲ爲サシメ後技藝ノ試験ヲ爲スヘシ

第三條 志願者ノ技藝ハ警察本部第一課警部ヲシテ試験セシム

第四條 試験官ハ志願者ニ對シ左項ヲ質問又ハ承知セシムルヲ要ス

一 郷里出發ノ志望及月日

二 巡查職務實際上ノ困難ヲ述ヘ之レニ堪忍シ得ルヤ否ヤ

三 平素品行ヲ正フシ且ツ會合飲酒等ニ至ル迄嚴禁タルコト

四 自己ノ疾病ニアラサレハ如何ナル事情アルモ誓約年限内ハ辭職セシムサルコト

五 巡查拜命ノ上配置ハ市署郡署ヲ論セス官ノ都合タルコト

六 前職務ノ包藏又ハ處刑ヲ受ケタル事ナキヤノコト

第五條 前條ニ對シ言辭曖昧ニシテ信用シ難シト認ムル者ハ試験ヲ爲サズ志願書却下スルコトアル可シ

第六條 試験官ハ巡查採用規則第五條ノ試験ヲ爲シ合格ナリト認ムルハ巡查採用規則第二號書式ノ誓約書ヲ徴シ翌日保證人ト共ニ出頭スヘキ旨ヲ達ス可シ

第七條 保證人ニ確ニ保證スルヤ否ヤヲ問ヒ且ツ保證人實際上ノ義務ヲ示ス可シ

第八條 試験官ハ試験ノ成績ヲ検査表ニ記入シ且ツ署名捺印ス可シ

第九條 前數條ノ手續ヲ終リタルハ巡查採用規則第二條第一項并第三條第一項第二項第三項ノ廉抵觸有無取調方ノ照會ヲ爲シ差支ナキ者ハ具申ス可シ

巡查検査表

原籍身分職業姓名	
生年 月 日	
產所	
寄留所	
身丈	

體格	
検査醫員姓名	
履歷	
技術	
讀畢リシ書	
讀書筆跡 作文 寫字 算術 擊劍	
作文問題	
同問題ヲ與ヘシ時間	
答書出セシ時間	
實父母姓名存亡年齡	
養父母名存亡年齡	
妻 有 無	
子 員 數	
兄弟姉妹員數	
財產 概 額	
保證人ノ住所及原籍 身分職業姓名年齡	

右検査候所合格ノ者ト確認候也
明治 年 月 日

大坂府警部

○本印第四十七號 明治十九年四月九日

部 署

巡查ヨリ警察御用掛及雇ニ警察御用掛雇等ヨリ巡查ニ採用セントスル時ハ現職之儘試験ヲ受ケシムルヲ得ヘシ此段相達候也

第三款 別途巡查請願心得

●甲第六十六號 明治十五年六月三十日

明治十四年七月常府甲第四百四十七號布達別途巡查請願心得別紙之通改正本年七月一日ヨリ施行候條此旨布達候事、

第一條 壹町村又ハ數町村聯合及ヒ壹人或ハ數人聯合ニテ別途巡查ノ配置ヲ請願セントスル者ハ以下各條ヲ遵守シ別紙第一號ヨリ第二號迄ノ書式ニ照準願書ヲ所轄警察署ヘ差出ス可シ

但警察署ノ所轄ヲ異ニセル町村若クハ人民ト聯合スルヲ許サス

第二條 配置期限六ヶ月以内ヘ之ヲ許サス若シ滿期後繼續セントスルカ又ハ六ヶ月以外ニ於テ臨時廢止ヲ願ハントスルハ三十日前第三號書ニ式照準

願書ヲ所轄警察署ヘ差出ス可シ

第三條 別途巡查配置ノ許可ヲ受クルルハ所轄警察署ノ指揮ニ從ヒ配置巡查ノ人員ヲ入ル、ニ足ル可キ家屋或ハ箱番所及ヒ第六條ニ記載スル品目ヲ除クノ外別紙ニ掲クル備品消耗品ハ請願主ニ於テ支辨スヘシ

但箱番所等ノ掃除點燈飲水運送等又都テ請願主ノ負擔タルヘシ

第四條 別途配置ヲ願フ巡查ノ人員晝間若クハ夜間ノミハ二名晝夜ハ四名ニ限ルヘシ

第五條 別途配置巡查ハ請願セシ町村ヲ警邏シ又壹人或ハ數人ニテ請願セシ者ノ住宅ヲ警防セシムト雖モ配置巡查ヲ指名シ及ヒ勤務法等ニ關シ變更ヲ願フモ之ヲ許サス

第六條 巡查壹名一ケ年經費金左之通豫定シ俸給旅費辦當料滿年賜金被服費警棒呼子笛捕繩手帳提灯提ケ燈ノ諸費ニ充ツルモノトス其支給方ハ一般ノ法則ニ依ルヘシ

但一般巡查改革等ノ爲メ増費ヲ要スルルハ其旨報告シ金額ノ改正ヲ命スルヲアルヘシ

金百三十拾圓

第七條 第六條ノ經費ハ一周年度請願期限一周年度ニ充タサルモノハ其期限ノ終リニ至リ決算仕譯書ヲ以

テ報告シ殘金ハ請願主ニ交付スヘシ
但被服其他不用ニ属シ賣却シタル代價ハ經費金ニ收入シ第六條ノ各費ニ
充ツヘシ

第八條 經費ハ三ヶ月分宛所轄警察署へ前納ス可シ若シ請願主ノ便宜ニ依リ
三ヶ月以上ノ分ヲ一時納收スルハ妨ケナシ

但請願許可セシキハ其月ノ十五日前後ヲ以テ全月或ハ半月分ヲ區別シ納
ムルモノトス又配置ヲ止ムル時ト雖モ本文ニ同シ

別紙

備用品	消耗品
テール	羽紙
椅子	筆
箱	墨
入	朱
朱硯トモ	墨
小庵	茶
置	炭
ラ	炭
ン	石炭
ア	炭
門	種油
箱	燭
火鉢	蠟燭
火箸	蠟燭
炭取	蠟燭
煙草	書翰袋

土	瓶
茶	碗
茶	盆
五	徳
水	桶
柄	杓
八角	時計
標	札

第一號 但書式中朱字ハ聯合出願之節此例ヲ示シタル者ニ付聯合セサル片ハ
朱字ヲ除ク可シ [以下書中()ヲ用井タル部ハ朱字]

別途巡查請願書

府下何國何郡何村
[外何ケ村町]

私村(并ニ何町聯合)協議ノ上何年何月何日ヨリ何年何月何日マテ 晝間若クハ夜間
別途巡查何名配置何所ニ交番所ヲ設ケラレ度御許可之上ハ別途巡查請願心書
第二條以下遵守可仕此段奉願上候也

明治何年何月何日

右町總代
何 誰 [印]

大阪府知事宛
第二號 但書第一號書式ニ同シ
別途巡查願書

府下何國何郡何町何番地住族籍職業

〔右町總代〕	〔何〕	誰	印
〔何〕	〔何〕	誰	印
〔右何町總代〕	〔何〕	誰	印
〔何〕	〔何〕	誰	印
〔右何町戶長〕	〔何〕	誰	印
〔何〕	〔何〕	誰	印
〔右何町戶長〕	〔何〕	誰	印
〔何〕	〔何〕	誰	印

私儀〔何某聯合協議之上〕何年何月何日ヨリ何年何月何日マテ 晝間若クハ夜間別
途巡查何名配置何處ニ交番所ヲ設ケラレ度御許可之上ハ別途巡查請願心得第
二條以下確守可仕此段奉願上候也
明治何年何月何日

何 誰

〔外何名〕

右

何 誰〔印〕

〔右何町何番地住族籍職業〕

〔何〕 誰印

〔右何町何番地住族籍職業〕

〔何〕 誰印

右町戶長

何 誰印

大阪府知事宛

第三號

別途巡查願書
期限內廢止願書

府下何國何郡何村以下記載方
最前出願ノ例ニ依ル可シ

私儀何所へ別途巡查何名配置之儀何年何月何日ヨリ何年何月何日マテ願濟之
共儀期ニ付更ニ何年何月何日間繼續 相成度此段奉願上候也
所 配置何々事由有之ニ付臨時廢止

右以下記載方總テ最前出願ノ例ニ依ル可シ

明治何年何月何日

大阪府知事宛

第四款 水夫召募規則

○本丙第三十五號 明治十六年一月十三日

安治川水上警察署

水夫召募規則別紙之通り相定候條此段及通達候也

水夫召募規則

第一條 水夫ヲ志願セントスル者ハ管内外ノ者ヲ論セス別紙第一號書式ノ志願書ヲ安治川水上警察署ニ爲差出試驗ノ上採用スヘシ

第二條 左ノ各項ニ觸ル、者ハ假令技倆アル者ト雖モ召募スルコトヲ得ス

一 壹ケ年以上勤續シ能ハサル事故アル者

二 犯罪其他重禁錮一年以上ノ刑ニ處セセラル者

三 職務上ニ害アル疾病アル者

四 年齢十八年未滿四十六年以上ノ者

但体格強壯ニシテ特ニ技術アル者ハ本項ノ限ニアラス

五 身幹四尺八寸未滿ノ者

六 舢舨又ハ端艇ノ運用術ヲ全ク知ラサル者

第三條 前ニ水夫ヲ免奪セシ者ハ再ヒ採用スルコトヲ許サヌト雖モ滿一ケ年

上ヲ過キ悔悟ノ保證アリ格別技術アル者ハ特ニ再職セシムルコトヲ得

第四條 試驗官ハ志願人ノ住所氏名身分職業年齡等第二號檢査表ノ科目ニ隨

ヒ詳細訊問シ而シテ平常行狀ヲ謹ミ晝夜トナク風雨寒暑ニ身ヲ曝シ筋骨ノ

勞非常ナルヲ以テ容易ニ堪ユ可ラサル旨懇示シ之ヲ承認スルハ左ノ順序

ニ從ヒ試驗スヘシ

但試驗ヲ爲スルハ事機ニ依リ水夫取締ヲ立會セ試驗上ノ意見ヲ聞クコトヲ

得

一 身体 曲尺ヲ以テ計ルヘシ

二 体格 耳目ノ如何手足ノ強弱等ヲ檢スヘシ

三 讀書 志願人ノ讀得ヘキモノヲ示ス

四 筆跡 適宜ノ作文又ハ氏名等ヲ書記セシム

五 運用術 舢舨端艇ノ操練等ノ使用方

六 特別技術 船工加治職等ノ如キ船用ノ器具ヲ自製スル工藝ヲ云フ

第五條 試験ヲ終リタルキハ試験官検査表ヲ作り署名捺印シ不合格ナル者ハ直チニ其旨ヲ本人ニ口達シ合格ト見認ムル者ハ第三號書式ノ誓約書ヲ徴シ尙ホ本人ノ前科及原籍相違ノ有無等本管郡區役所又ハ戸長役場へ照會シ回答ヲ俟ツヘシ

但至急補欠ヲ要スル場合ニテ不都合ナシト見認ムル者ハ回答ヲ俟タズ採用スルヲ得

第六條 合格ノ者ニテ採用セントスル時ハ検査表ニ志願書其他ノ書類ヲ添へ意見ヲ附シ署長ニ稟議シ任用スヘシ

但航海上ノ履歴アル者ハ該履歴書ヲモ添附スヘシ

第七條 水夫ハ日給拾七錢ヨリ採用スヘシト雖モ水上警察上必要ノ工藝アル者ハ特ニ相當ノ給額ヲ登用スルヲ得

但豫算定額ノ給料ニ超過スルヲ許サズ

第八條 水夫ヲ採用シタルキハ引受人ヨリ第四號書式ノ引受證書ヲ差出サセ他日移住又ハ死去等ノアレハ更ニ相當ノ者ヲ代補セシメ引受證書ヲ改正セシムヘシ

第九條 引受人タル者ハ府下在籍ノ者ニシテ丁年以上ノ戸主ニ限ルヘシ尤モ戸主ト雖モ水夫ヲ以テ引受人ト爲スヲ得ス

第十條 水夫ヲ採用スルキハ第五號雛形ニ倣ヒ辭令書ヲ下附シ第六號書式ノ請書ヲ徴シ水夫名簿ニ登記スヘシ

書式

第一號

水夫志願書

私儀當署水夫志願ニ付御試験ノ上御採用被成下度此段奉願候也

何府縣何郡區町村番地

身分何男又ハ戸主

何所寄留

志願人 姓 名印

年月日 年 齡

肩書前全

引受人 姓 名印

前書ノ通有之候條與印候也

何地戸長 姓 名印

年月日

安治川水上警察署

御 中

第二號

水夫検査表

住所身分職業 年齢氏名	生地	寄留所	實養 父母姓名及存亡	兄弟ノ數及姓名 姉妹ノ數及姓名	引受人住所身分 職業氏名	前職	賞罰 一ケ年間差支ノ有無	身幹	体格	運用術優劣	特別技術

讀書筆跡

右検査候處合格ノ者ト認定候也

年月日

検査官 官 氏 名 印

第三號

水夫誓約書

私儀今般水夫御採用相成候ハ、左ノ誓約條目ノ趣固ク遵守可仕候也

- 一奉職中職務規則ハ勿論時々御命令ノ趣謹テ相守可申事
- 一官給ノ物品ハ勿論船体船具等決テ粗漏ノ取扱致間敷事
- 一奉勤ノ日ヨリ一ケ年未滿ニシテ退職ヲ願候儀致間敷事
但疾病ニヨリ奉務難致節ハ醫師診斷書ヲ添可申事
- 一上官ニ抗抵シ人民ニ威權ケ間敷儀等決シテ致間敷事
- 一署内又ハ舟中ニ於テ飲酒シ或ハ民家ニ金錢ヲ借リ物價ヲ拂ハサル等ノ儀
決シテ致間敷事

年月日

何府縣住所身分職業 氏 名 印

第四號

引受證書

何某儀今般誓約書差出水夫御採用相成候ニ付而ハ私ニ於テ右誓約條目確守可
爲致ハ勿論若シ本人不都合ノ義有之候ハ、屹度辨理可致尤モ私旅行又ハ他ニ
移住等仕候節ハ直チニ引受人相立可申依テ引受證如件

肩書前號ニ全シ

年月日

姓 名 印

安治川水上警察署宛

第五號

(用紙小奉書四ツ切)

姓名

水夫申付日給金

何十錢支給候事

甲

年月日 大阪府署名

乙 何署詰申付水夫何某

(小奉書十六切)

第六號

受 書

今般水夫拜命謹テ御受仕候然ル上ハ御規則ヲ遵守シ職務勩勉可仕依テ御受書
如期候也

何署詰

年月日

水夫 何 某 印

安治川水上警察署宛

第五款 任免轉署及同辭令書式

○本甲第八拾六號 明治十五年四月五日 各署

署長ニ於テ巡查ニ部替ヲ命シタル時ハ其都度第一部へ通知可致此段相達候也

○本甲第三百三十號 明治十五年十月十九日 各署

當府各課并ニ郡區役所及監獄署等へ奉職ノ者ヲ巡查ニ採用又ハ巡查ヲ該廳雇
更及看守へ採用スル等ノ場合ニ於テハ總テ本署ノ主管ニ有之候處各署長ニ於
テ直ニ照會又ハ廻答ノ上本署へ申出候向モ有之不都合不勘自今右等ノ節ハ本
署へ稟議可致此段及通達候也

○本甲第七十九號 明治十六年十月十日 各署

自今巡查新任轉署等赴任ノ節ハ三里以内ハ即日以外ハ翌日赴任可爲致此段及
通達候也

第六款 新任者履歷並印鑑宿所

○丁第四十七號 明治十四年三月五日 各課署掛

新任ノ吏員ハ拜命ノ當日及翌日ヲ以テ宿所牌印鑑履歷書等可差出成規ノ處往々遅延候向有之差支不勘候條向後新任者有之候節ハ其課署長ニ於テ注意シ遅延セサル様可爲致此旨相達候事

○甲市郡第拾三號 明治十四年八月廿七日 本署各部 市郡各署

警部御用掛雇等新ニ拜命ノ節ハ履歷速ニ差出候様御取計可有之此段及御回達候也

○甲第百五拾四號 明治十四年九月二日 市郡各署

是迄巡查宿所短冊本署第一部へ御差出相成來候處自今不及其儀候條各署ニ於テ無洩御取置可有之此段及通達候也

○甲第二拾二號 明治十五年一月卅一日 市郡各署

市郡各署諸警察雇拜命ノ節名簿并ニ宿所印鑑短冊等本署ニ差出來候處左之通改定候條此段及通達候也

改正ニ因リ第五
部ハ内事課トナ
ル

- 一 雇吏名簿
- 一 拜命當日又ハ翌日ヲ以テ本署(内事課)ニ可差出事
- 一 同印鑑宿所短冊

其署限リ保存可致事

○本甲第四十一號 明治十七年三月廿四日 部所署

警部警部補御用掛リ印鑑并宿所牌ハ自今本署ニ於テ保存スルニ被定候ニ付テハ更ニ左ノ離形ニ倣ヒ調製シ(印鑑)本月三十日限リ差出スヘシ此段及通達候也

但今後新任改印轉宿等ノ都度本文ニ準シ差出シ候儀ト心得ヘシ

離形

豎曲尺四寸五分 用紙美濃紙

明治十何年何月何日(拜命)(改印)

官印 ○ 實印 ○ 小印 官 氏 名

全 上

明治十何年何月何日(拜命)又ハ(轉宿)

何町何村何番地住又ハ寄留 官 氏 名
又ハ何某方又ハ何某扣家寄留

(參考)五第二百五十六號 明治十七年四月十九日 各部所署
 警部警部補御用掛印鑑并宿所牌差出方ノ儀本年三月本甲第四十一號ヲ以テ通
 達相成候處改印轉宿ニ該牌ノ御差出ノ向モ有之右ハ自今新任者ヲ除クノ
 外ハ警部長名宛ノ届書ヲ以テ可差出儀ニ有之候條此段及御通達候也
 大阪府任免條規履歷雛形

某 官位 勳 爵 苗 字 名印
 本籍 何縣何郡何町何番地

何府(縣)華族(士族平民)舊何藩 舊名某
 年号干支月日何國何郡何町(村)ニ於テ生

年號干支月日	任免賞罰事故	官 衙
明治何年支何月何日	任某官(某職) <small>被仰付候事</small>	某 省
同 年何月何日	何々ニ付爲慰勞金何圓下賜候事	同 上
同 年何月何日	叙勳何等	賞 勳 局
同 何年支何月何日	某々委員囑任候事	某 院

同 年何月何日	御用有之某國へ被差遣候事	太 政 官
同 何年支何月何日	歸朝	
同 何年支何月何日	某官被廢	

以下此体ニ倣ヒ楷書ニテ正シク認ムヘシ但シ官廳廢置及ヒ官等改正
 ハ采ヲ以テ記載スヘシ

履歷記載條項

一 任官	一 免官
一 轉官并鷓官	一 叙位
一 叙勳并從軍記章	一 叙爵
一 賞典慰勞	一 黜罰
一 武官補職罷役退職後備軍艦員	
一 分局課	一 委員
一 公立府縣立學校教員ノ類	一 内地出張

一外國派遣并歸朝

一教員囑託

一佩用免許

一恩給并一時賜金又ハ滿年賜金

一官費留學、入學、卒業、内外學位

一官省廢置及ヒ官等改正

一轉籍改氏名

此他職務上ニ就キ官廳ヨリ命令訓達ヲ受ケタル事件ハ悉皆記載スヘシ

●丁第卅七號

明治十七年六月十七日

警察本署

巡查名簿別紙ノ通り更正候條此旨相達候事
但現時奉職ノ者モ本表ニ依リ更ニ差出サシムヘシ

(括弧内朱書)

第 號		巡查身分一覽表	
實	父(某年號月日生)	年號月日歿	族籍(何府縣華士族平民)
母	(同)	(同)	出生(年號月日生)
養	父(同)	(同)	產所(何府縣何國何郡區何町村)
母	(同)	(同)	住(何府縣何國何郡區何町村何番地)
祖	父(同)	(同)	所(或ハ何某方同居何某長男又ハ二男)
母	(同)	(同)	寄留(大坂府何郡區何町村何番地)
妻	年號月日入籍	何府縣華士族	所(或ハ何某方)
	年號月日入籍	平民何某女某	
			章(勳)
			何某(實印)
			檢印

子	長男 某年號月日生	二男 某年號月日生	長女 某年號月日生	二女 某年號月日生	兄弟	兄 某年號月日生同居	弟 某年號月日生同居	弟 某年號月日生同居	妹 某年號月日生同居	資額	公債 何程他之ニ準ス	概額	何程他之ニ準ス	公傷	明治何年何月何日於何處何々職務ヲ行フ際兇賊ノ爲メ銃創又ハ刀創他之ニ準ス	前職	明治何年何月何日 官 何官省府縣	現職	明治何年何月何日 巡査申付月俸金何圓支給候事 大坂府	褒賞	明治何年何月何日何々ニ依リ賞金何圓下賜又ハ賞誥以下之ニ準ス	懲罰	明治何年何月何日何々ニ依リ罰金何程或ハ呵責以下之ニ準ス
保証人	大坂府何郡區何町村何番地(何某方同居)或ハ寄留何府縣華士族平民何某																						
詰	明治何年何月何日某警察署詰以下之ニ準ス																						
署																							

○本甲第八十四號 明治十九年六月三十日
警察雇名簿別紙之通改正候條此段相達候也
(書式) 書体楷書

部署

警察雇名簿		保 府下何區何町何番地住(又ハ 寄留何府縣)華士族平民
本籍	何國何郡區何町村何番地 (又ハ右ニ同シ)	何府縣華士族平民
產所	何國何郡區何町村 (又ハ右ニ同シ)	位勳爵 苗字名 ④
寄留所	府下何區何町何番地(又ハ何某方)	年號于支月日生
實	父 苗名字存或ハ亡 母 同	妻 何府縣華士族平民何某何女某 年號月日結婚
養	父 同(又ハナシ) 母 同(同)	子 長男某 長女某 二男某 二女某
受業	年月日 官立某學校ニ於テ又ハ何某ニ就キ法律和漢學何國語學習 算術簿記法何技術又ハ何々ノ業ヲ受ケ年月日卒業(何々ニ依 リ半途ニ止ム)	

前職務	明治年月日任某官(某職)申付候事 何省院廳府縣
進退	明治年月日警察雇申付月俸何圓支給候事 大坂府 同 年月日自今月俸何圓支給候事 全 (本欄以下ハ雇拜命以後ノ進退賞罰ヲ記載スルモノトス)
詰署	明治年月日警察本署何部詰申付ラル 同 年月日某警察署詰申付ラル
賞與	明治年月日何々ニ付賞金何程下賜候事 大阪府 同 年月日何々ノ廉ニヨリ爲慰勞金何程給與候事 全
懲罰	明治年月日何々ノ廉ニ依リ呵責(或ハ罰金何程申付ラル)

第七款 巡查進退錄記載例

○本甲第二百三十八號 明治十六年十二月二十四日 警察署
來十七年一月一日ヨリ巡查進退錄一帳ヲ設ケ左ノ種目ヲ別チ記載可致此段及
通達候也

但用紙美濃界紙

巡查進退錄記載ノ種目

新任ノ部

何年何月何日
何月俸

辭職ノ部

何年何月何日
何々ニ依リ

免職ノ部

何年何月何日懲罰或ハ
都合何々ニ依リ

剝奪ノ部

何年何月何日
何々ニ依リ

昇給ノ部

何年何月何日
何圓俸

賞與ノ部

何府縣士族
或ハ平民 何ノ誰

全

全

全

全

何年何月何日何々
ニ依リ金何圓

懲罰之部

何年何月何日何々ニテ
金何圓或ハ阿賈

戒諭之部

何年何月何日何々ニ
依リ爾后注意

警部補代理任免ノ部

何年何月何日任
或ハ免

交換ノ部

何年何月何日何署へ
或ハ當署へ

編入ノ部

何年何月何日
何部

皆勤休暇ノ部

何年何月何日ヨリ
何日間

祭日休暇ノ部

何年何月何日

入院ノ部

何年何月何日
何々症

全

全

全

全

全

全

全

全

全

退院ノ部

何年何月何日

自宅並轉地療養ノ部

何年何月何日ヨリ

看病ノ部

何年何月何日ヨリ

墓參ノ部

何年何月何日ヨリ

蒙恩ノ部

何年何月何日ヨリ

第八款 警察上賞與申出心得及下付取扱

丁第二十四號 明治十五年二月九日 警察本署

警察上賞與申出心得並書式左之通相定候條此旨相達候事

賞與申出心得

第一項 盜賊其他人殺等捕獲賞與申出ハ第一號第二號第三號書式ニ照準可差出
但シ人民ニ於テ捕獲セシ時其聞取書又ハ手續書ハ第二號書式ニ準シ取捨スヘ

十七年丁第三十六號ヲ以テ本人ノ景況書ノ五字ヲ追加ス

第二項 出火消防人命救撥等ノ賞與申出ハ第一號第四號又ハ第五號書式ニ照準シ及ヒ本人或ハ親屬ノ聞取書又ハ手續書等取纏可差出

但シ人民ニ於テ出火消防人命救撥セシ其聞取書ハ第四號第五號書式ニ準シ取捨スヘ

第三項 巡查職務上負傷ノ者病院或ハ自宅ニ於テ治療ノ後全快スル其療治料申出ハ第六號書式ニ照準シ病院或ハ醫員ノ請求書本人景況書ヲ添ヘ可差出

第四項 同斷不具ニ相成候者扶助料申出ハ第七號書式ニ照準シ醫按并本人景況書ヲ添ヘ可差出

第五項 同斷死亡セシ者ハ吊祭扶助料申出ハ第八號書式ニ照準シ醫員檢斷書并本人景況書ヲ添ヘ可差出

第六項 巡查ト人民ト相共ニ人命救撥セシ其賞與申出書ハ總テ二通ツ、可差出

第七項 張盜捕獲出火消防等ノ節負傷候者ハ醫按ヲ賞與申出書ヘ添ヘ可差出

第八項 甲署ト乙署ノ巡查協力シテ罪犯ヲ捕獲シタル場合ニ於テハ其罪犯ヲ

取調タル署ヨリ賞與方申出スヘシ

第一號

何々犯捕獲又ハ出火消
止人命救援セシ賞與ノ義ニ付上申

何々警察署詰

巡查 何 某

右ノ者賞スヘキ功績
ヲ詳記スヘシ因テ相當ノ御賞與相成度別紙一件書類相添へ此段上申候也

何々警察署長

年月日 官 姓 名 印

大阪府知事宛

第二號

景況書

何府何國何郡何町村何番地

何ノ誰

何年何ヶ月

右之者拒捕強盜贓貨
幣放火人殺等ノ所業有之趣ヲ以テ何年何月何日拘引ノ命ヲ奉シ或ハ強盜ノ訴有之ヲ以テ探偵注意スル云々或ハ平素不行跡且種々惡評モ有之候ニ付其居所ヲ探偵スルニ何ノ確證有之ニ付其旨上申何月何日午拒捕ナル
ハハ刀劍何時逮捕

ナ以テセシカ棍棒ヲ以テセシカ手足ヲ以テセシカ云々其探偵逮捕ノ手
續ヲ詳記スヘシ此段上申候也

年月日

何々警察署詰

巡查 何 某 印

第三號

何々何某聞取書

一何年何月何日何府何國何郡何町何地ニ於テ何々ノ爲謀故殺

一同斷何某方へ拔刀又ハ
不持ニテ押入脏ノ有無

一、、、、、、、、、、、、、、、、、

右之通相違無之候也

年月日

主任官 姓 名 印

第四號

景況書

私儀

何月何日午前何時何所巡回罷在候處何郡何町何番地何ノ誰方ヨリ出火ノ場所原
由其廣狹等自
身ノ認メカ又ハ他ノ
報告カナ詳記スヘシ出火致シ候ニ付直ニ馳ケ付同僚ノ助力者アラハ姓名其他ノ助力
者ノ人数等消防ノ景況ヲ記スヘシ消留候間此段上申候也

年月日

何々警察署詰

第五號

景況書

巡查 何 某印

私儀

何月日何時何所巡廻罷在候處何郡何町字何川又ハへ陷溺セシ者アルヲ認メ
又ハ他ノ報直ニ駈付ケ候處水ノ深淺廣狹及ヒ本人此處アラハ其救援救接ノ摸樣助カ者取調
告ニヨリ摸樣或ハ莊氣ノ景況等詳記スヘシ者ニ付其宿所迄送り届或ハ署へ又ハ戸長
役場へ連行候條此段上申候也

年月日

何々警察署詰

巡查 何 某印

第六號

治療料下賜方上申

巡查 何某治療料

一金何拾何圓何拾錢

内

何圓何拾錢

右ハ何月日傷瀆ヲ被ムリ候ニ付一時何々ノ入費

何圓何拾錢

右ハ何月日入院何月迄何十日分一日附何拾錢宛

右ハ何月日何所ニ於テ強盜捕獲之際又ハ何所出火ノ際消防ニ盡力シ負傷候
ニ際爾后入院治療相施候處遂ニ全癒何月何日退院致候ニ付書面之通療治料下
賜相成度此段上申候也

年月日

何々警察署長

官 姓 名 印

大阪府知事宛

第七號

扶助料下賜方上申

何署詰

巡查 何 某

右ハ何年月日何所ニ於テ強盜其他何々犯捕獲ノ際刃傷ヲ被リ治療相施候得共
遂ニ全療ニ至ラス不具ニ相成終身不具ニシテ自用ヲ便スル能ハサル候ニ付扶助料規則
何等傷瀆相當ト見認候條扶助金下賜相成度醫師診斷書本人景況書相添此段上
申候也

年月日

何々警察署長

官 姓 名 印